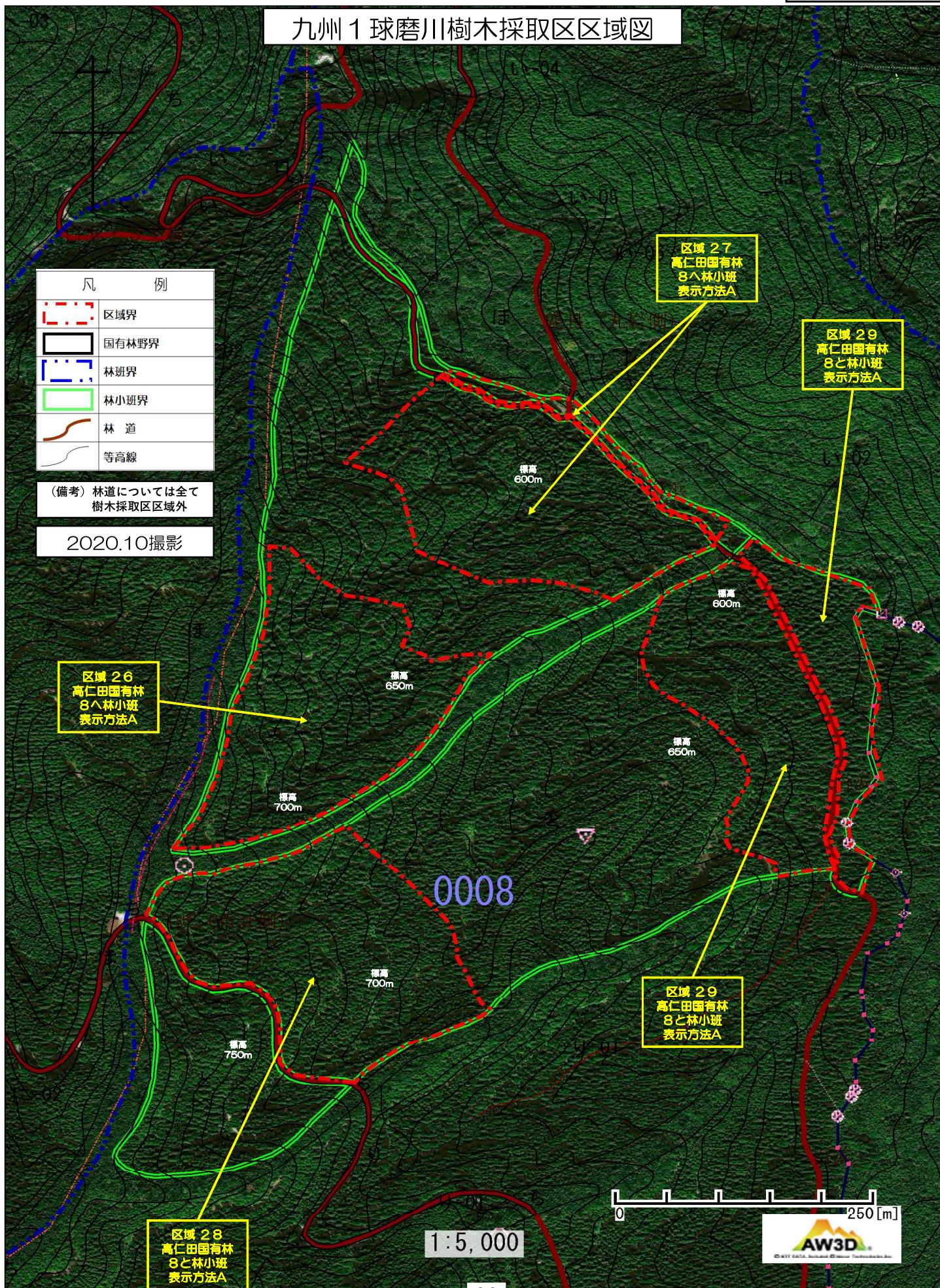
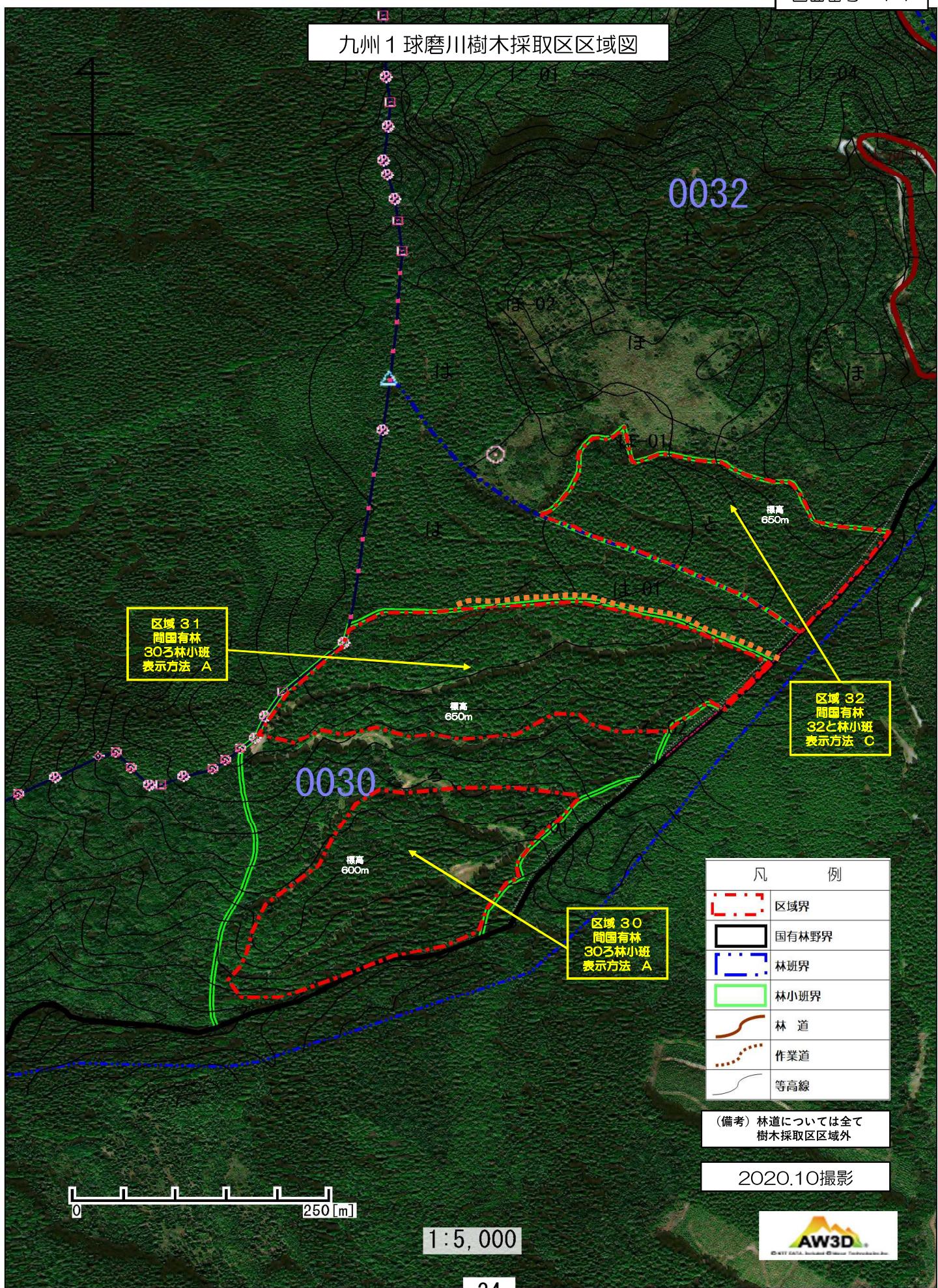
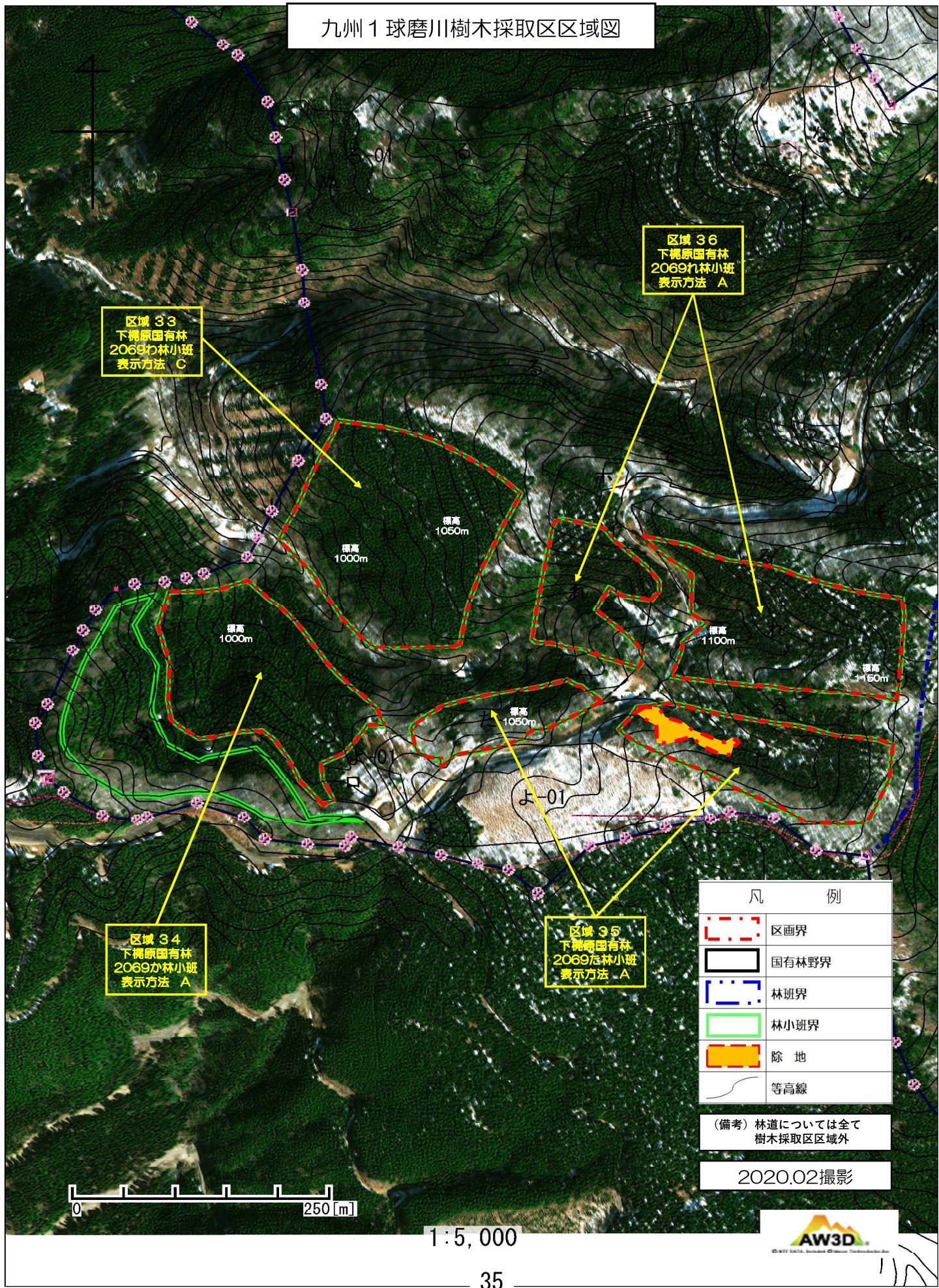


九州1 球磨川樹木採取区区域図

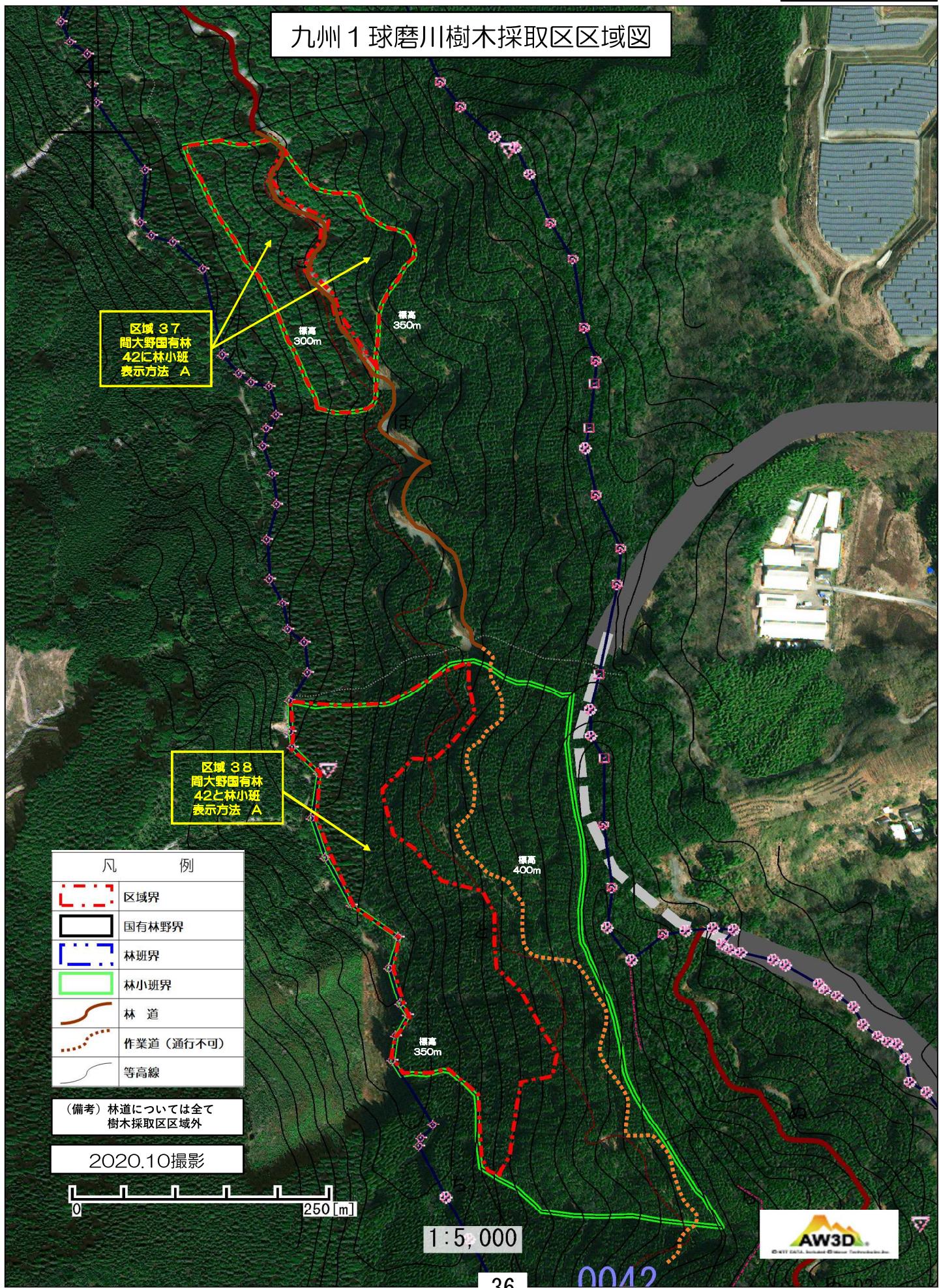


九州1 球磨川樹木採取区区域図

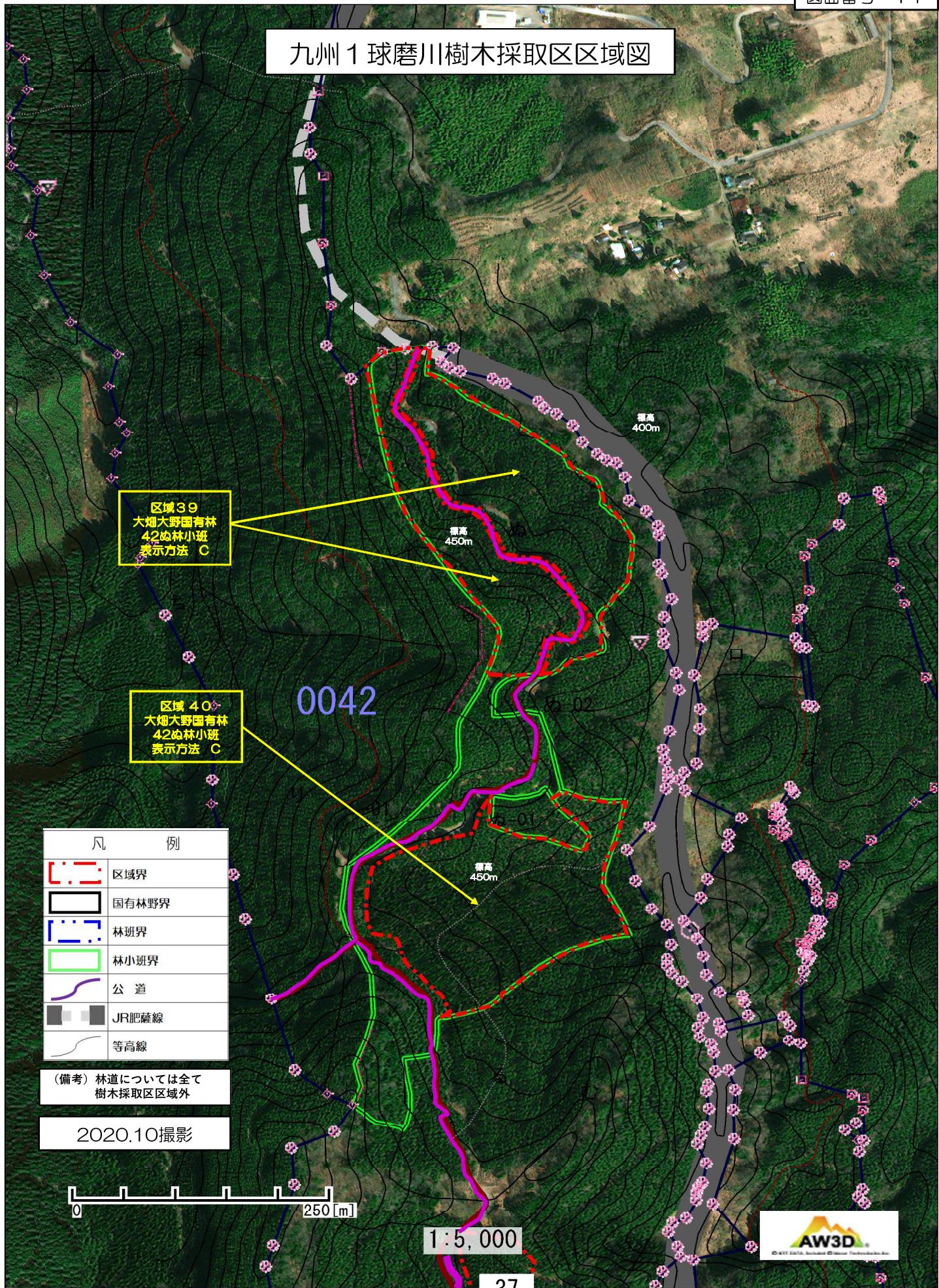




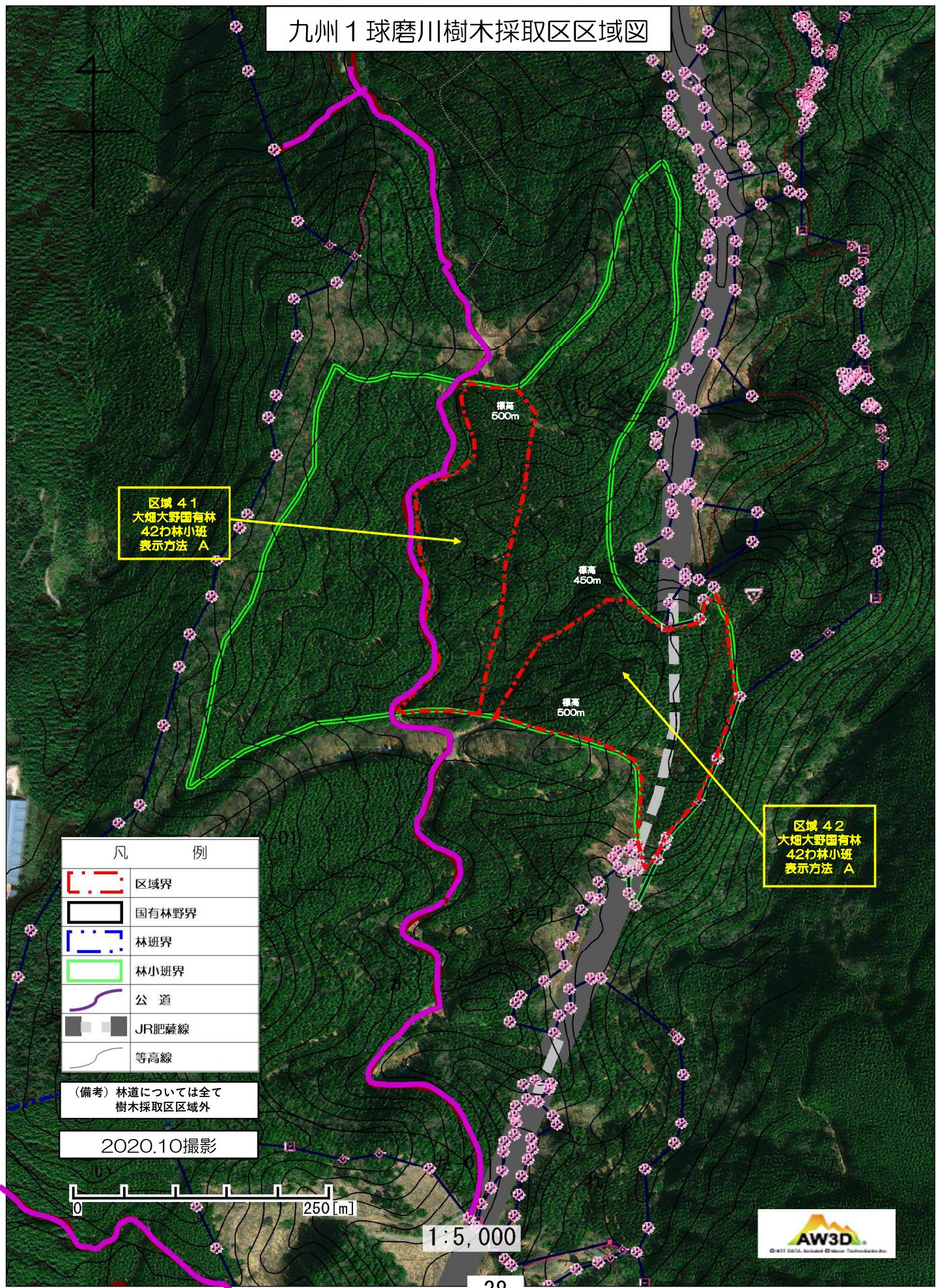
九州1 球磨川樹木採取区区域図



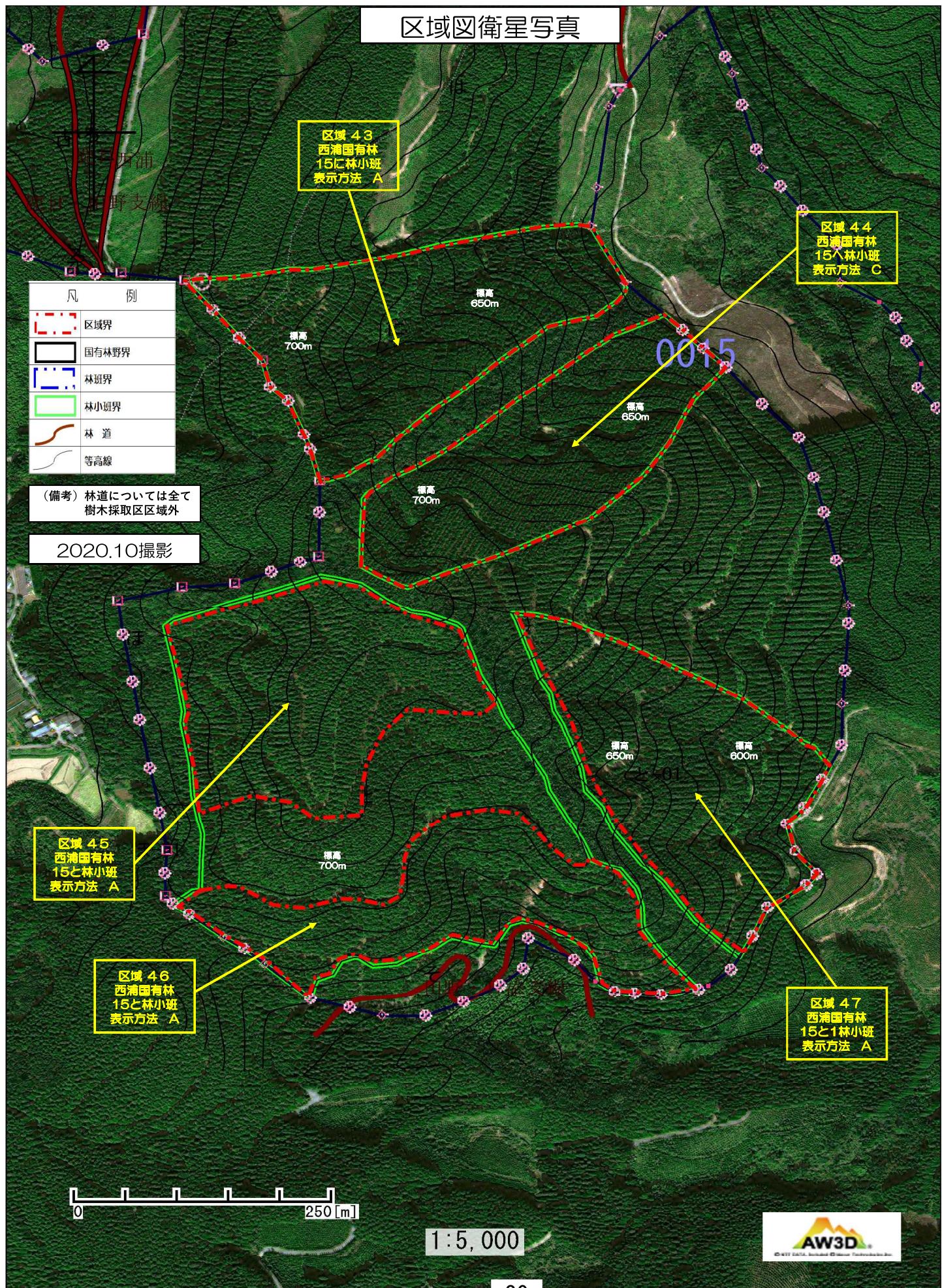
九州1 球磨川樹木採取区区域図



九州1球磨川樹木採取区区域図



区域図衛星写真



九州 1 球磨川樹木採取区の指定にかかる参考情報

- 1 本樹木採取区に設定することが見込まれる樹木採取権の存続期間の案
10 年程度
- 2 森林資源の状況（令和 3 年 4 月 1 日現在）
別紙 3 の森林資源等状況一覧表のとおり
- 3 林道等の状況（令和 2 年 12 月 1 日現在）
別紙 4 の林道等の状況一覧表のとおり

九州1球磨川樹木採取区森林資源等状況一覧表

区域番号	林班	小班	樹種群	伐合制限(保育林)	桿利關係	小班面積 ha	林種	種類	「混合歩合率」	「生長量率」混年 m ³	「生長量率」混年 m ³	明確でない小班内地等の面積 ha	区割界の表示方法	伐採率 %	採取方法	主伐が可能な年度	前回の間伐実施年度	採取可能面積 ha	「材自當率」りば採 m ³	保護標準が承認可能な年次に	保護標準の範囲	「伐木どかする年齢」たどかする年齢 m ³	主伐が可能な年度	間伐その他の樹木の採取が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断		
区域 1	59 ち	水源	スヒ普	水涵保	—	21.21	单	スキ ヒノキ	100	53	50	25	9.6	A	0.04	2.07	0.00	100	皆伐	35	—	H27	R3	338	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断	
区域 2	59 五	水源	スヒ普	水涵保	—	—	单	スキ ヒノキ	100	53	50	25	16.4	A	0.04	3.55	0.01	100	皆伐	35	—	H27	R3	348	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断	
区域 3	59 ち	水源	スヒ普	水涵保	—	—	单	スキ ヒノキ	100	53	50	25	16.3	A	0.04	3.54	0.01	100	皆伐	35	—	H27	R3	328	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断	
区域 4	59 る	水源	スヒ普	水涵保	—	18.58	单	スキ ヒノキ	10	90	50	25	31.0	A	0.00	4.93	0.00	100	皆伐	35	—	H25	R3	373	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断	
区域 5	59 る	水源	スヒ普	水涵保	—	—	单	スキ ヒノキ	5	95	50	25	7.6	A	0.00	1.14	0.00	100	皆伐	35	—	H25	R3	358	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断	
区域 6	59 か1	水源	スヒ普	水涵保	—	6.10	单	スキ ヒノキ	2	9.06	53	50	25	19.9	A	0.00	4.99	0.00	100	皆伐	35	—	H27	R3	348	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断
区域 7	12 ほ	水源	スヒ普	水涵保	—	—	单	スキ ヒノキ	100	50	50	25	20.3	A	0.69	4.89	0.37	100	皆伐	35	—	H29	R7	294	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断	
区域 8	22 ほ	水源	スヒ普	水涵保	—	5.39	单	スキ ヒノキ	2	98	54	50	25	31.9	A	0.00	4.89	0.00	100	皆伐	35	—	H28	R6	443	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断
区域 9	22 へ	水源	スヒ普	水涵保	—	5.29	单	スキ ヒノキ	10	90	53	25	25.9	A	0.00	4.16	0.00	100	皆伐	35	—	H28	R6	405	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断	
区域 10	22 こ	水源	スヒ普	水涵保	—	14.06	单	スキ ヒノキ	75	100	52	50	34.9	A	0.00	4.92	0.00	100	皆伐	35	—	H28	R6	447	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断	
区域 11	22 こ	水源	スヒ普	水涵保	—	—	单	スキ ヒノキ	25	85	52	50	25	6.8	A	0.00	3.85	0.00	100	皆伐	35	—	H28	R6	425	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断
区域 12	22 こ	水源	スヒ普	水涵保	—	5.19	单	スキ ヒノキ	2	98	50	25	41.4	A	0.00	4.94	0.00	100	皆伐	35	—	H28	R6	379	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断	
区域 13	1455 い1	水源	スヒ普	水涵保	—	14.75	单	スキ ヒノキ	15	85	50	25	38.2	A	0.00	4.71	0.00	100	皆伐	30	—	H22	R3	459	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断	
区域 13	1455 い1	水源	スヒ普	水涵保	—	0.18	单	スキ ヒノキ	45	100	50	25	2.8	C	0.00	0.18	0.00	101	皆伐	35	—	H22	R3	540	•主伐が可能な年次は、林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断	

別紙3 九州1球磨川樹木採取区森林資源等状況一覧表

区域番号	林班	機能型	施業群	伐名制限(保安林)	樹種	小班面積 ha	林地保有者	「現名地名表」	「生長量(年齢)」	「明確でない他の木の量」	区画面積 ha	伐採率 %	伐採方法	伐採率 %	主伐が可能な年齢	前回の伐採実施年度	伐採可能面積 ha			「材積相当量(年間伐取可能に達する年数)」	「伐採率(年間伐取可能に達する年数)」	
																	伐採年	伐採年	伐採年			
区域14	1456 5	水源	スピ普	水透保	—	16.73	单	スキ ヒノキ	100 51	50 55	20.1 25	A A	0.00 0.00	2.85 100	0.00 100	苗伐	—	35	—	H22	R3	441
区域15	1456 5	水源	スピ普	水透保	—	5.87	单	スキ ヒノキ	90 10	50 55	11.8 1.3	A A	0.00 0.00	1.85 100	0.00 100	苗伐	—	35	—	H22	R3	397
区域15	1456 わ1	水源	スピ普	水透保	—	2.32	单	スキ ヒノキ	95 5	50 55	9.4 0.3	A A	0.00 0.00	1.44 101	0.00 100	苗伐	—	30	—	H22	R3	416
区域16	1456 わ2	水源	スピ普	水透保	—	4.01	单	スキ ヒノキ	85 15	50 55	8.4 0.4	A A	0.00 0.00	0.97 100	0.00 100	苗伐	—	30	—	H22	R5	400
区域16	1456 じ2	水源	スピ普	水透保	—	8.30	单	スキ ヒノキ	95 5	50 55	31.7 1.1	C A	0.00 0.00	4.01 100	0.00 100	苗伐	—	30	—	H22	R4	431
区域17	1427 ぬ	水源	スピ普	水透保	—	4.20	单	スキ ヒノキ	25 75	50 55	24.0 12.9	A A	0.00 0.00	2.73 224	0.00 0.00	苗伐	—	35	—	H27	R5	468
区域17	1427 じ	水源	スピ普	水透保	—	1.27	单	スキ ヒノキ	85 15	50 55	3.5 0.6	A A	0.00 0.00	0.64 100	0.00 100	苗伐	—	35	—	H27	R6	419
区域18	1428 ほ	水源	スピ普	水透保	—	5.20	单	スキ ヒノキ	70 30	50 55	13.9 5.7	A A	0.00 0.00	2.60 100	0.00 100	苗伐	—	35	—	H27	R5	503
区域18	1428 へ	水源	スピ普	水透保	—	1.58	单	スキ ヒノキ	49 80	50 55	1.8 6.6	C C	0.00 0.00	1.58 100	0.00 100	苗伐	—	35	—	H27	R5	356
区域19	1455 ろ	水源	スピ普	水透保	—	2.74	单	スキ ヒノキ	90 10	50 55	19.8 2.3	C C	0.00 0.00	2.74 100	0.00 100	苗伐	—	30	—	H22	R4	466
区域20	1455 は	水源	スピ普	水透保	—	7.94	单	スキ ヒノキ	51 10	50 55	24.8 2.8	A A	0.00 0.00	4.92 100	0.00 100	苗伐	—	35	—	H22	R3	314
区域21	1425 に	水源	スピ普	水透保	—	9.31	单	スキ ヒノキ	40 60	50 55	15.9 20.8	A A	0.00 0.00	4.62 100	0.00 100	苗伐	—	35	—	H19	R8	608
区域22	1425 に	水源	スピ普	水透保	—	4.45	单	スキ ヒノキ	40 60	50 55	12.3 16.0	A A	0.00 0.00	3.56 100	0.00 100	苗伐	—	35	—	H19	R8	329

九州1球磨川樹木採取区森林資源等状況一覧表

区域番号	林班	樹種群	樹型	小班面積 ha	「賀名共名※」	「賀名共名※」	伐採率 %	伐採面積 ha	主伐可伐面積 ha	前回の間伐実施年数	主伐が可能な年数	伐が可能な他の樹木の採伐が可能な年数	「上材を主材に伐採する伐が可能な年数」	保証標準を満足可能年数	摘要			
区域23	1426 3	水源	スヒゴ	2.92	单	スキ ヒノキ	100 55	50 25	14.0 A	0.00 0.91	0.00 100	皆伐	35	—	H20	R9	402	
区域23	1426 ほ	水源	スヒゴ	—	3.31	单	スキ ヒノキ	60 40	50 55	14.2 A	0.00 0.00	2.38 100	皆伐	30	—	H20	R8	400
区域24	1426 5	水源	スヒゴ	—	3.26	单	スキ ヒノキ	100 55	50 55	5.6 A	0.00 0.00	0.67 100	皆伐	30	—	H20	R3	597
区域24	1426 ぬ	水源	スヒゴ	—	13.65	单	スキ ヒノキ	100 47	50 25	8.7 A	0.00 0.02	1.02 100	皆伐	35	—	H27	R5	456
区域25	1427 へ	水源	スヒゴ	—	0.78	单	スキ ヒノキ	90 10	50 55	6.2 C	0.00 0.6	0.78 100	皆伐	35	—	H27	R5	473
区域25	1427 じ	水源	スヒゴ	—	8.30	单	スキ ヒノキ	95 5	50 55	25.9 A	0.00 0.00	2.94 100	皆伐	35	—	H27	R5	393
区域25	1427 ち	水源	スヒゴ	—	3.28	单	スキ ヒノキ	100 48	50 25	10.6 A	0.00 0.00	1.21 100	皆伐	35	—	H27	R5	422
区域26	8 へ	水源	スヒゴ	—	16.41	单	スキ ヒノキ	65 35	50 55	14.2 A	0.00 0.00	4.46 100	皆伐	35	—	H25	R3	400
区域27	8 へ	水源	スヒゴ	—	—	单	スキ ヒノキ	65 35	50 55	15.8 A	0.00 0.00	4.96 100	皆伐	35	—	H25	R3	401
区域28	8 じ	水源	スヒゴ	—	—	单	スキ ヒノキ	90 10	50 55	23.1 A	0.00 0.00	4.95 100	皆伐	35	—	H25	R3	404
区域29	8 じ	水源	スヒゴ	—	22.75	单	スキ ヒノキ	98 2	50 55	17.2 A	0.00 0.4	3.38 100	皆伐	35	—	H25	R3	400
区域29	8 じ	水源	スヒゴ	—	—	单	スキ ヒノキ	98 2	50 55	8.2 A	0.00 0.02	1.62 100	皆伐	35	—	H25	R3	400

九州1球磨川樹木採取区森林資源等状況一覧表

九州1球磨川樹木採取区森林資源等状況一覧表

区域番号	林班	小班	構成要素	保全樹限(保安林)	種類	林地	「混生林」	「生長量※」	区域別の表示方法	明確でない小班内 林地等の面積 ha	区域面積 ha	伐採率 %	伐採率 %	伐採率 %	前回の伐採実績年度	主伐が可能になる年齢	「主伐が可能になる年齢」 材積当量※たりば探 査m ³	「保護標準の記載 箇所」 の体積 m ³	「保護標準が採 用される年取可能 に」	備考									
区域41	42わ	水源	スヒ旨	—	—	17.42	スギ ヒノキ	65 35	50 55	25 48	9.3 A	0.00 0.00	248 100	0.00 100	皆伐	35	—	H27	R5	R5	364								
区域42	42わ	水源	スヒ旨	—	—		スギ ヒノキ	48 100	50 55	25 25	A A	0.00 0.00	328 100	0.00 100	皆伐	35	—	H27	R5	R5	311								
区域43	15に	水源	スヒ旨	水涵保	—	5.05	スギ ヒノキ	10 90	50 55	25 46	A 31.9	0.00 0.00	5.00 4.0	0.00 0.00	皆伐	35	—	H30	R8	R8	243								
区域44	15ヘ	水源	スヒ旨	水涵保	—	4.91	スギ ヒノキ	41 100	50 55	25 40.1	C A	0.00 0.00	4.91 5.00	0.00 0.00	皆伐	35	—	H30	R10	R8	271								
区域45	15ど	水源	スヒ旨	水涵保	—	13.58	スギ ヒノキ	40 100	50 55	25 43.8	A A	0.00 0.00	5.00 5.00	0.00 100	皆伐	35	—	H30	R11	R8	232								
	15じ	水源	スヒ旨	水涵保	—		スギ ヒノキ	40 100	50 55	25 35.2	A A	0.00 0.00	4.02 4.02	0.00 100	皆伐	35	—	H30	R11	R8	232								
区域46	15じ	水源	スヒ旨	水涵保	—		スギ ヒノキ	40 100	50 55	25 35.2	A A	0.00 0.00	4.02 4.02	0.00 100	皆伐	35	—	H30	R11	R8	232								
区域47	15ど1	水源	スヒ旨	水涵保	—	5.57	スギ ヒノキ	40 100	50 55	25 43.9	A A	0.00 0.00	5.00 5.00	0.00 100	皆伐	35	—	H30	R11	R8	252								
						344.31											19003						17058						

45

輪級別面積

輪級	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計
区画面積(ha)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7.37	5.37	37.22	35.14	18.87	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	103.98
区画面積(ha)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	24.36	10.77	24.59	13.96	12.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	86.05

備考

- 1：「区画面積」は、表示方法Aにおいては区画位置における各区画のGIS等による計測による面積である。

- 2：「ハ当たり伐採材積※」は、林齡、採取できる伐採軸、現時点の進年成長量、伐採率等から伐採率を想定できるよう、令和2年10月にビッターリッヒ法による測定したものを参考に記載しているものであり、実際の材積を表すものではない。

- 3：「混合歩合※」は、令和2年10月にドローン撮影等による判別結果を記載しており、また、「進年生長量※」は「ハ a 当たり伐採材積※」を「混合歩合※」から算定したものであり、調査実績ではない。

- 4：区画番号及び区画面積以外の情報は、平成29年3月31日時点の森林調査簿によるほか、それぞれの区画について樹木採取権制度カーラインについて（令和2年4月1日付元林国経第177号林野厅長官通則）、地勢管理経営計画及び国有林野施業実施計画で示された考え方方に基づく表示である。

- 5：主伐が可能になる年度は、現地踏査及び林内写真から算出した林分の鬱閉割合から判断した区域がある。

- 6：林道は区画面積に含まない。

- 7：区画内は全てSGEC認証／PFCE認証の森林である。

凡例

機能種型	水 潤	水滲透性タイプ
施業形	スギ・ヒノキ皆伐	スギ・ヒノキ皆伐
合計限(保安林)	水 潤	水源かん養保安林
林 壤	单	育成单層林

九州1球磨川樹木採取区 現況図面一覧表

図面番号	区分	対象とする区域番号	備考
1	現況図面	区域1,2,3,6	5,000分の1図面
2		区域4,5	
3		区域7	
4		区域8,9	
5		区域10,11	
6		区域12	
7		区域13	
8		区域14,15,16	
9		区域17,18	
10		区域19,20	
11		区域21,22,23,24	
12		区域25	
13		区域26,27,28,29	
14		区域30,31,32	
15		区域33,34,35,36	
16		区域37,38	
17		区域39,40	
18		区域41,42	
19		区域43,44,45,46,47	

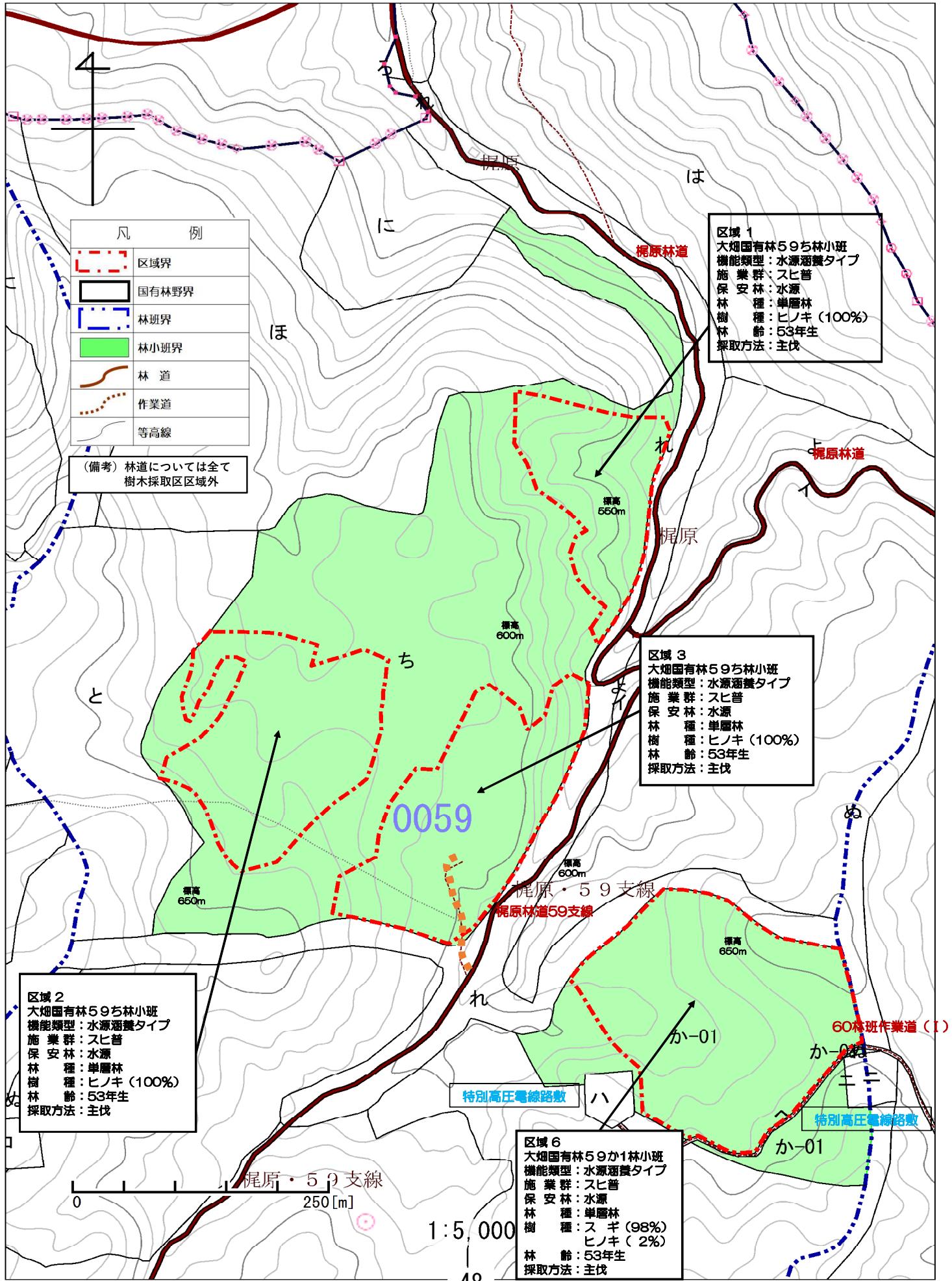
備考：区域界の表示方法については、樹木採取権制度ガイドラインについて（令和2年4月1日付元林国第177号林野庁長官通知）で示された考え方に基づく。

九州 1 球磨川樹木採取区
現況図面
(1/5,000)

九州森林管理局

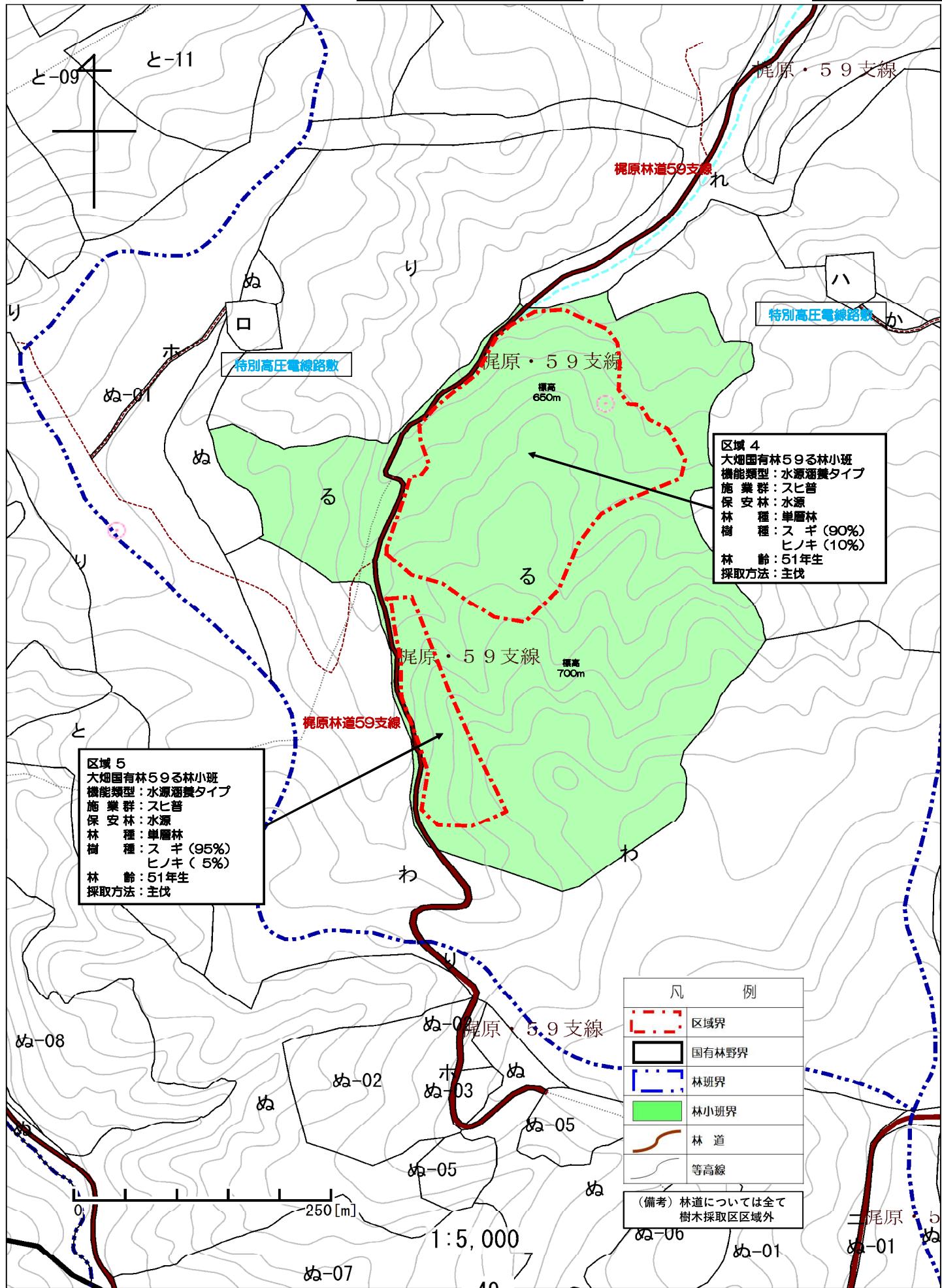
現況図面

図面番号 1



現況図面

図面番号 2



現況図面

図面番号 3

4
+

鹿目（丸岩側）

0012

特別高压電線路敷

西浦12作業道

特別高压電線路敷

特別高压電線路敷

鹿目・田野支線

鹿目林道田野支線

区域 7
西浦国有林12ほ林小班
機能類型：水源涵養タイプ
施業群：スピ普
保 安 林：水源
林 樹 種：単層林
林 齢：50年生
採取方法：主伐

鹿目（丸岩側）

標高
600m

標高
650m

に-01

に

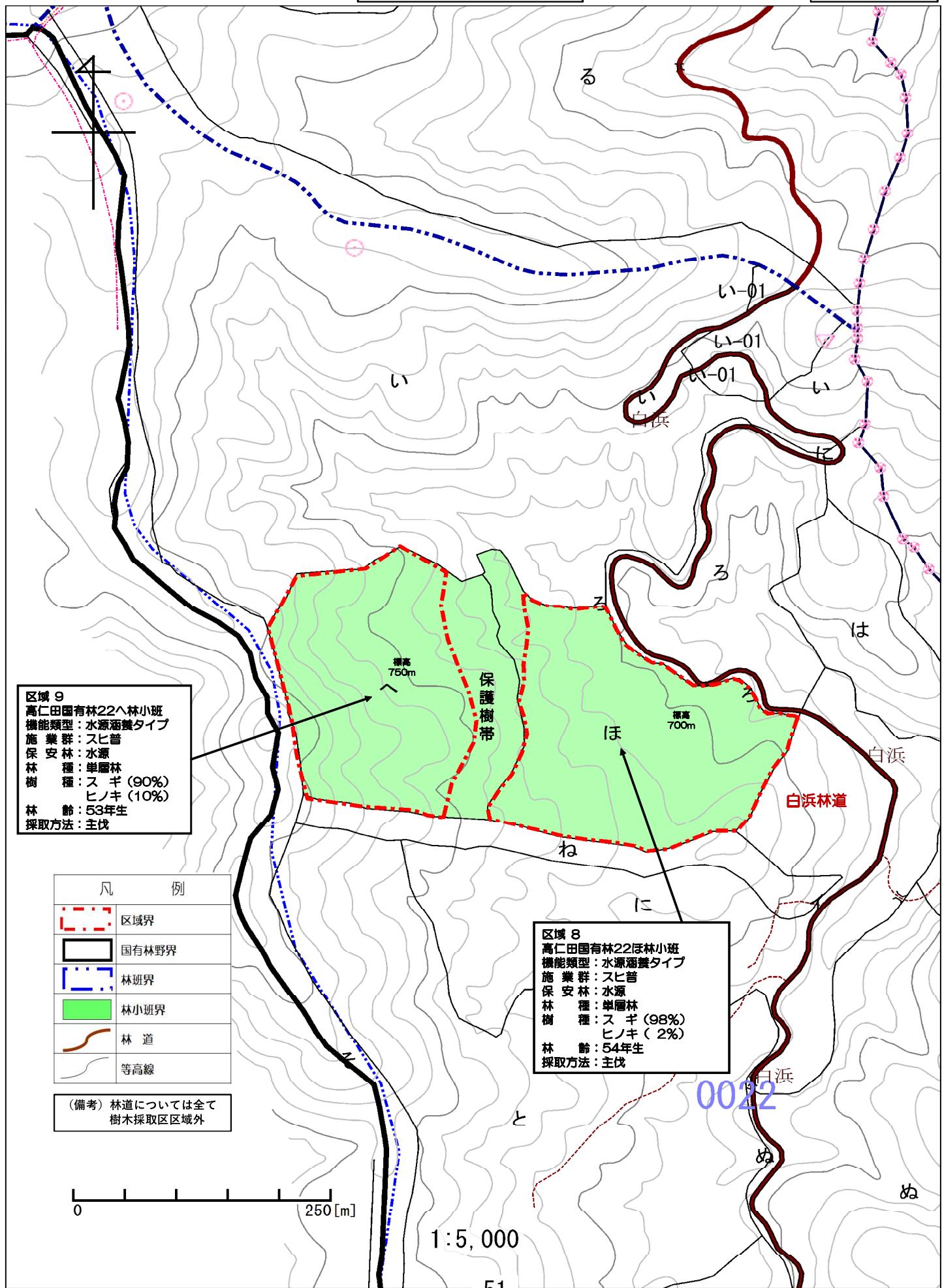
凡 例	
	区域界
	国有林野界
	林班界
	林小班界
	林道
	作業道（要修繕）
	等高線

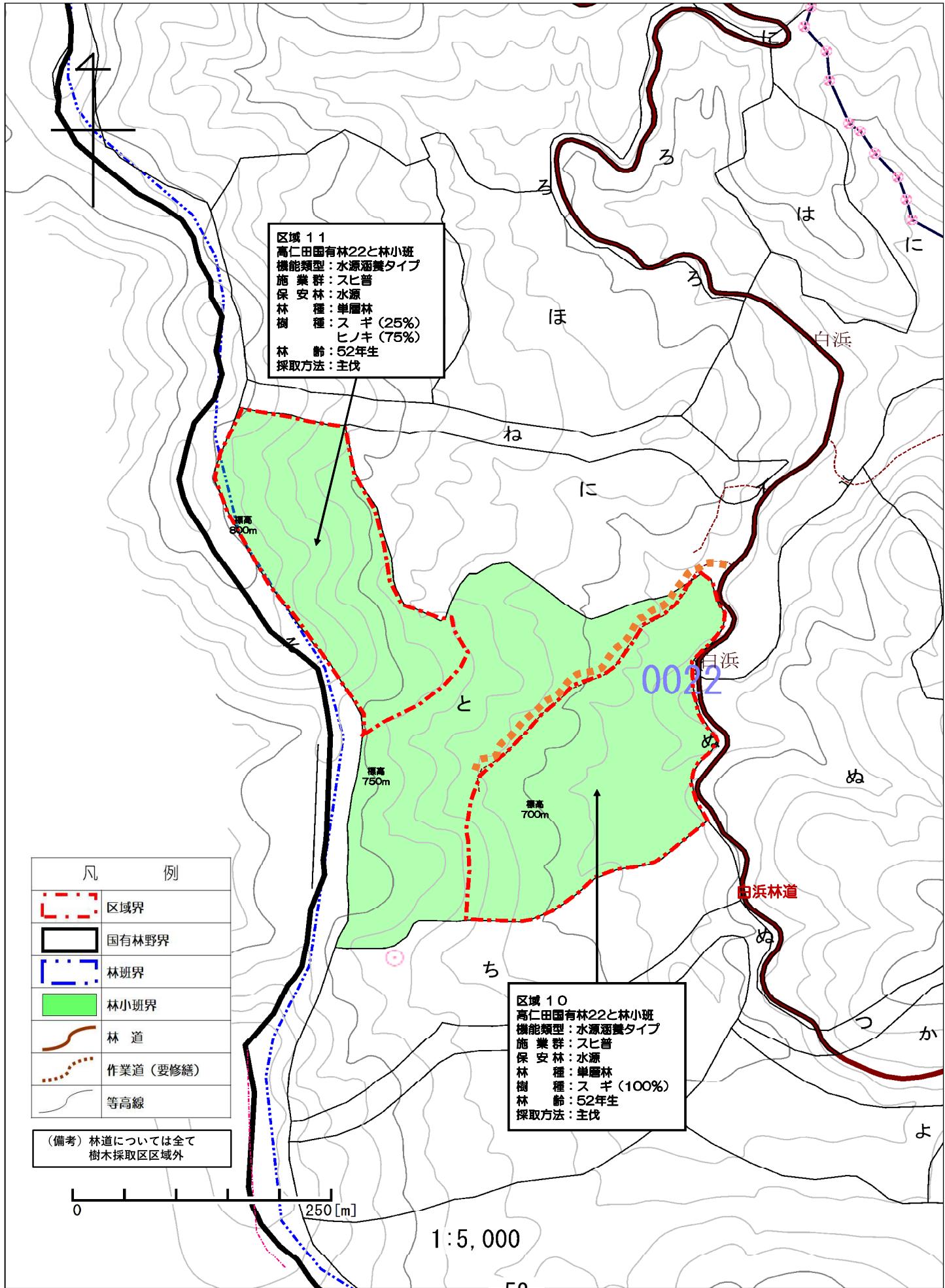
(備考) 林道については全て
樹木採取区区域外

0 250 [m]

1:5,000

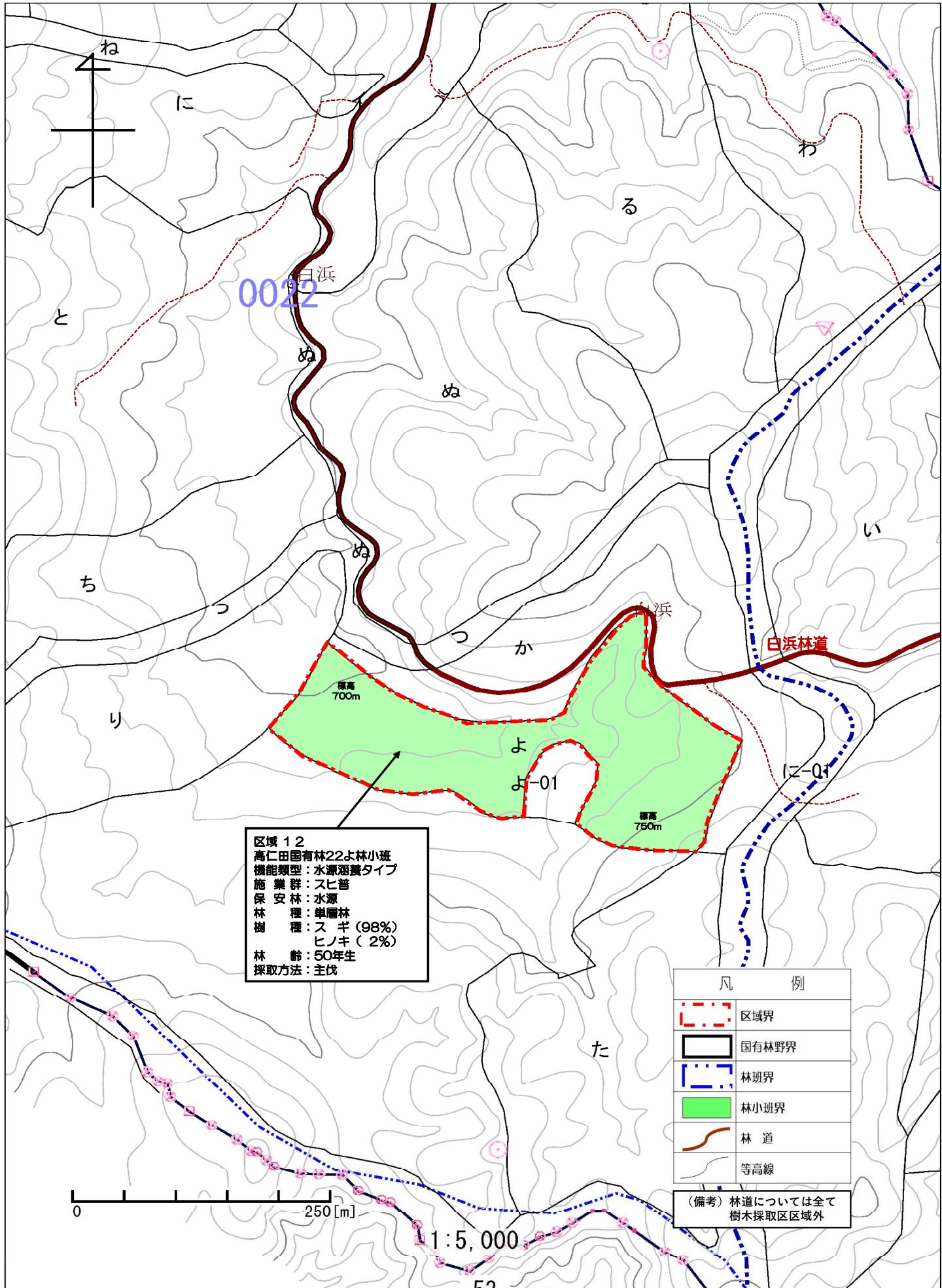
50





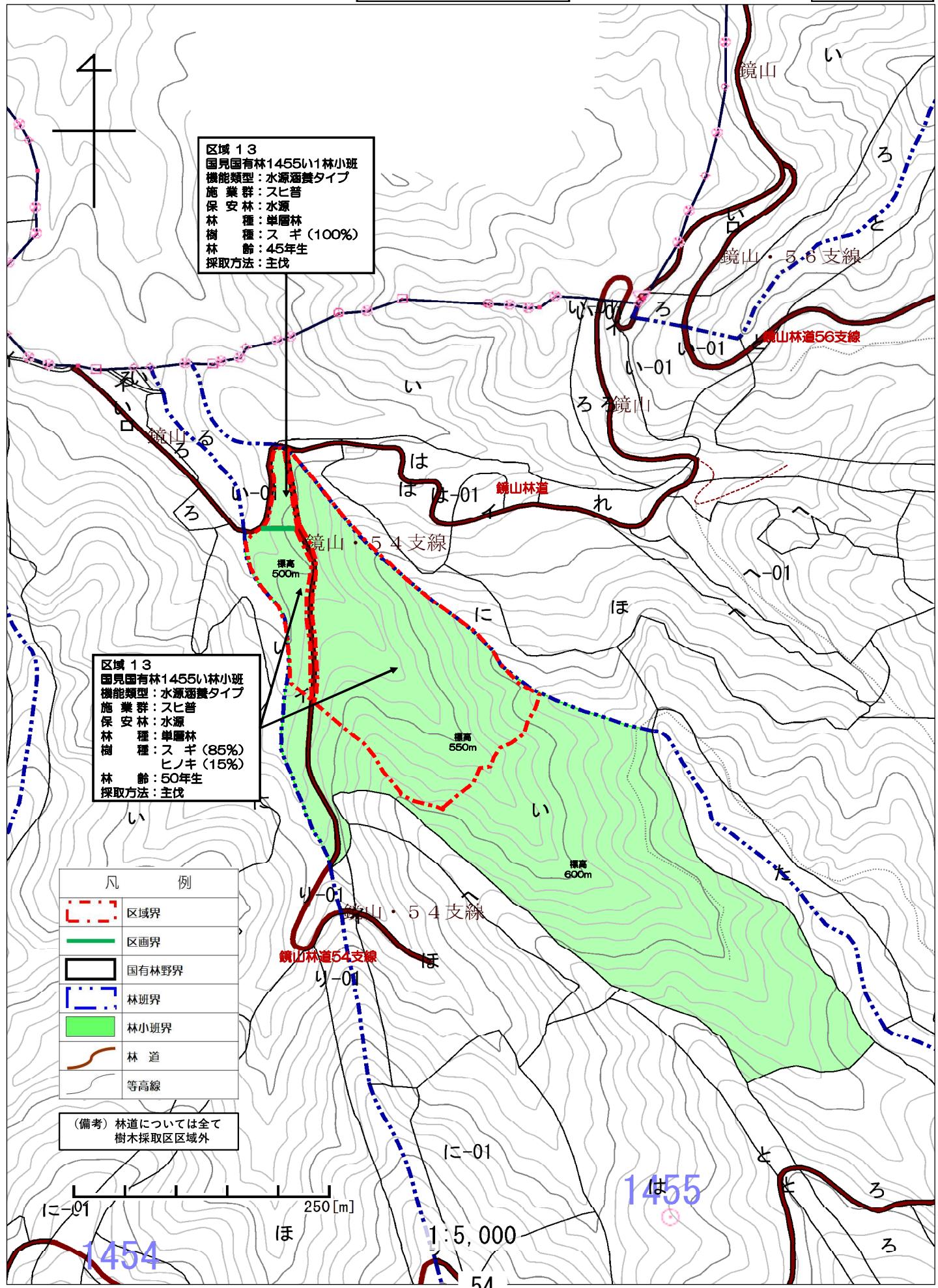
現況図面

図面番号 6



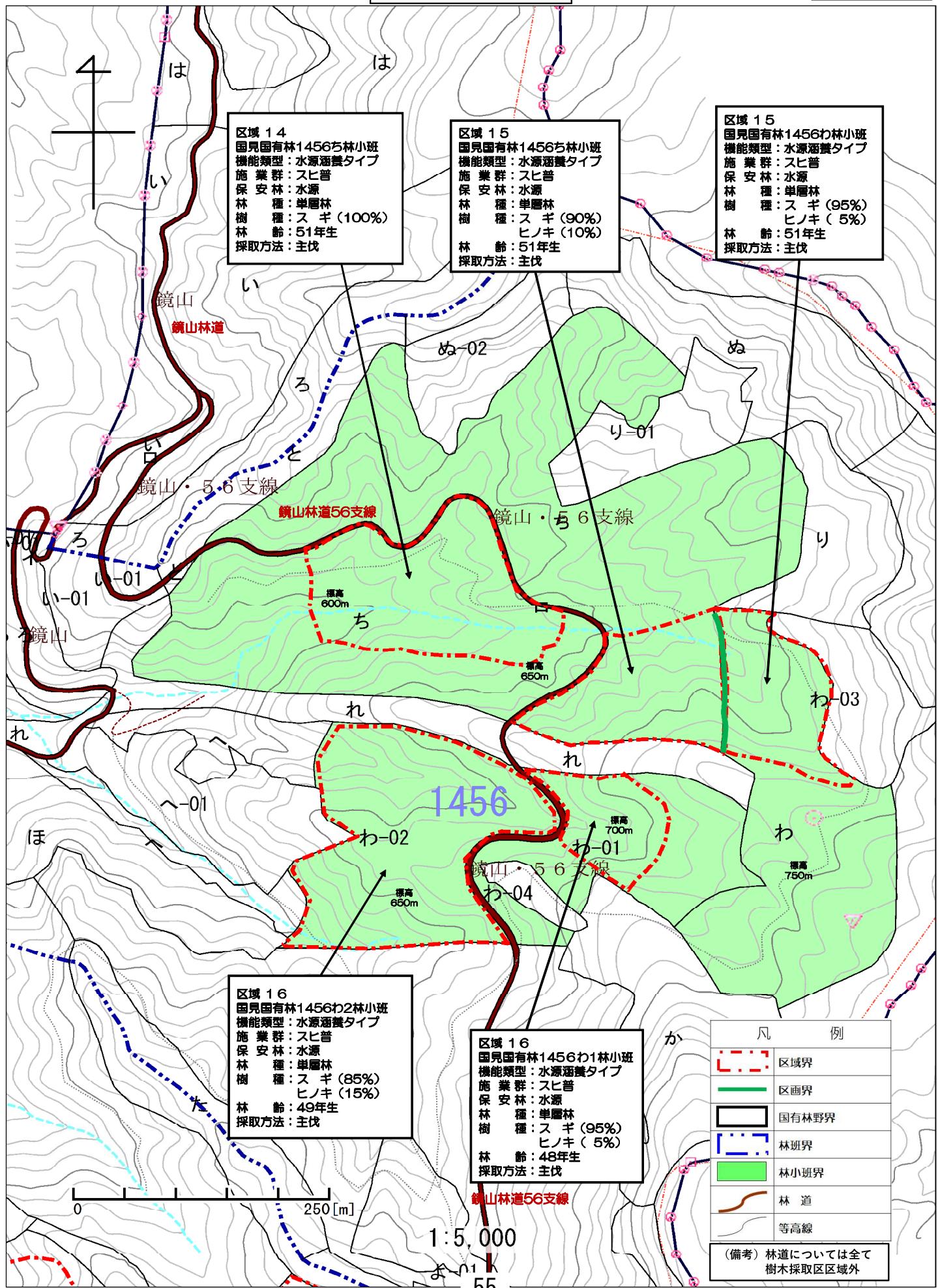
現況図面

図面番号 7



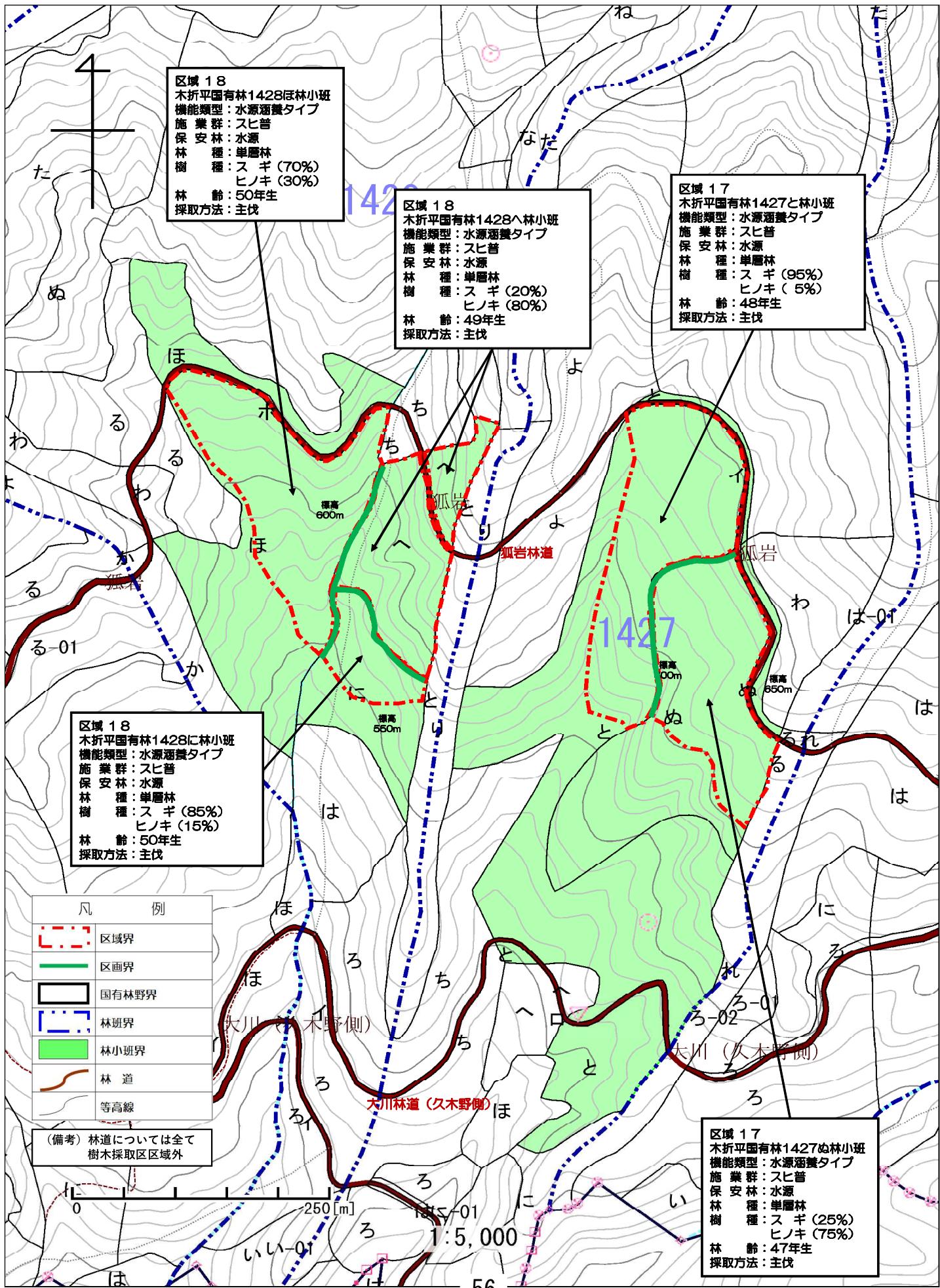
現況図面

図面番号 8



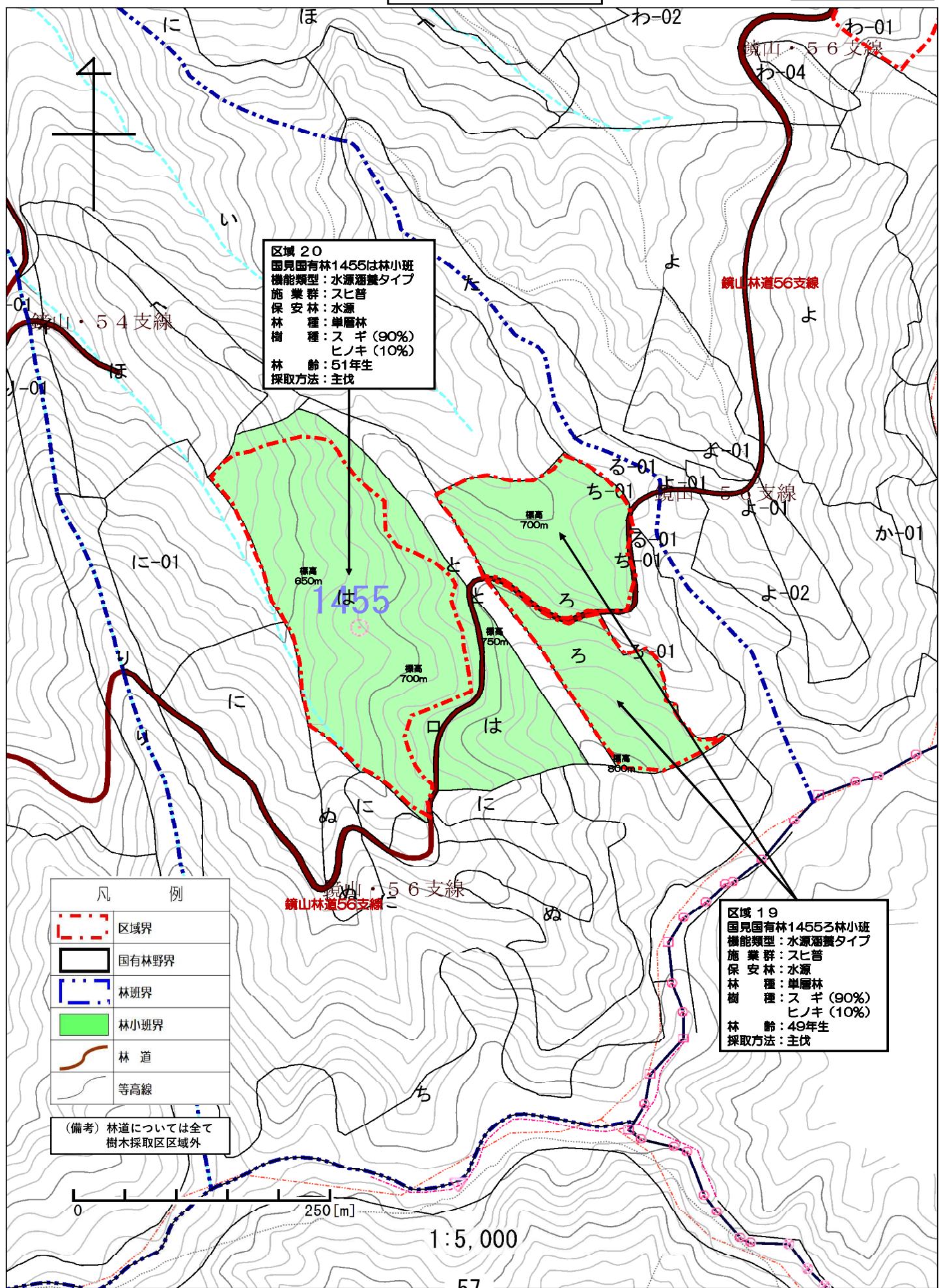
現況図面

図面番号 9



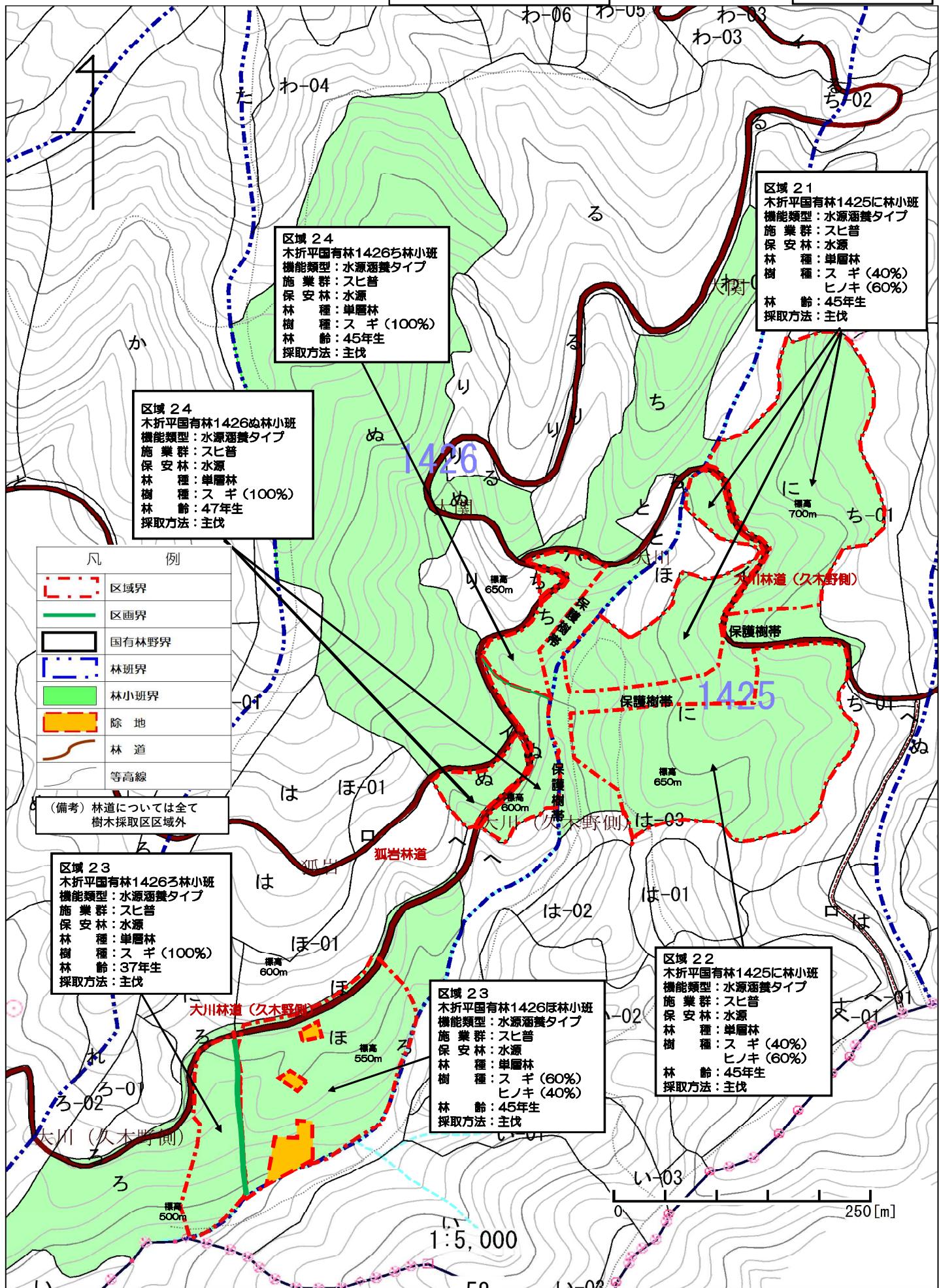
現況図面

図面番号 10



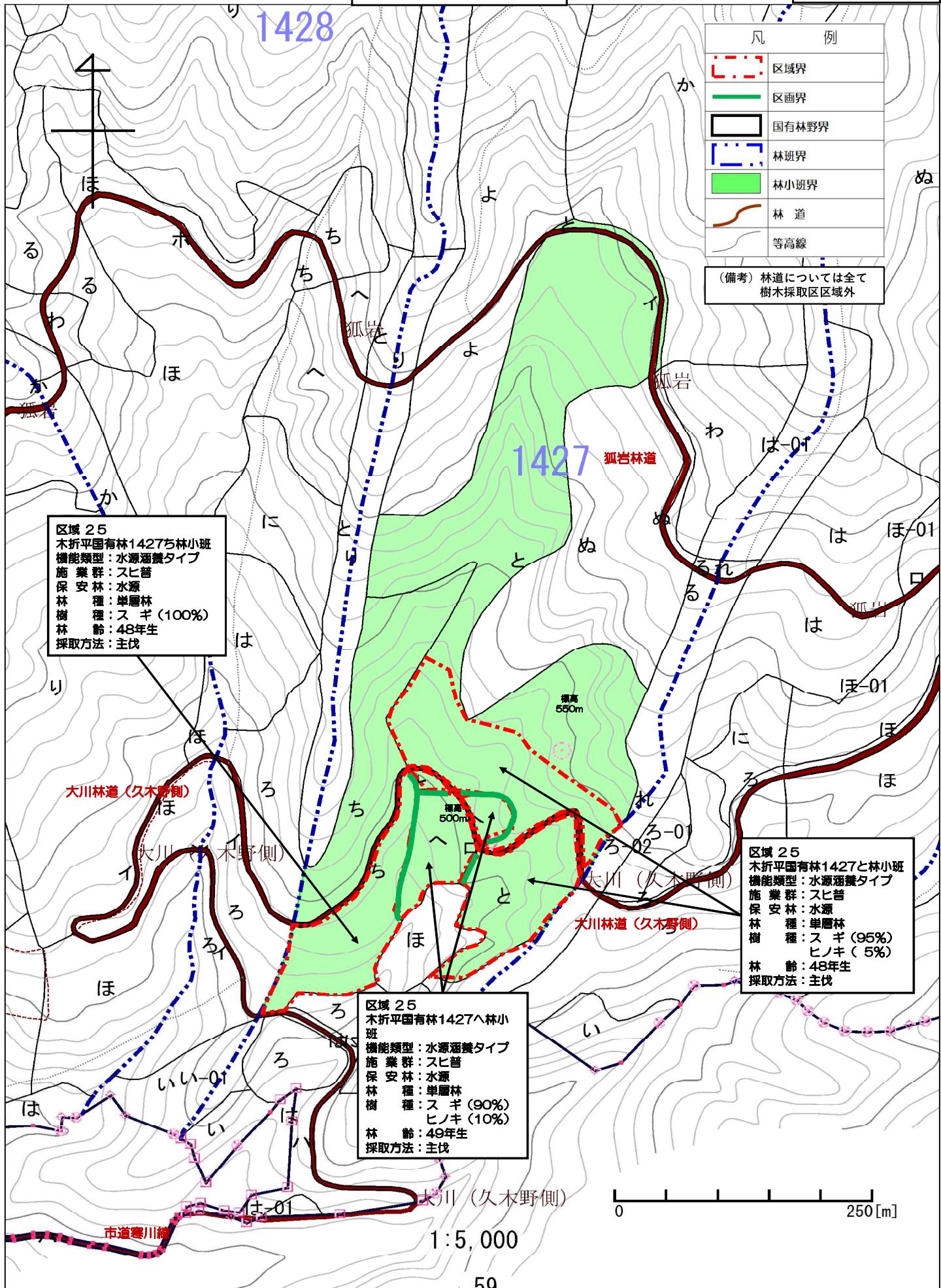
現況図面

図面番号 11



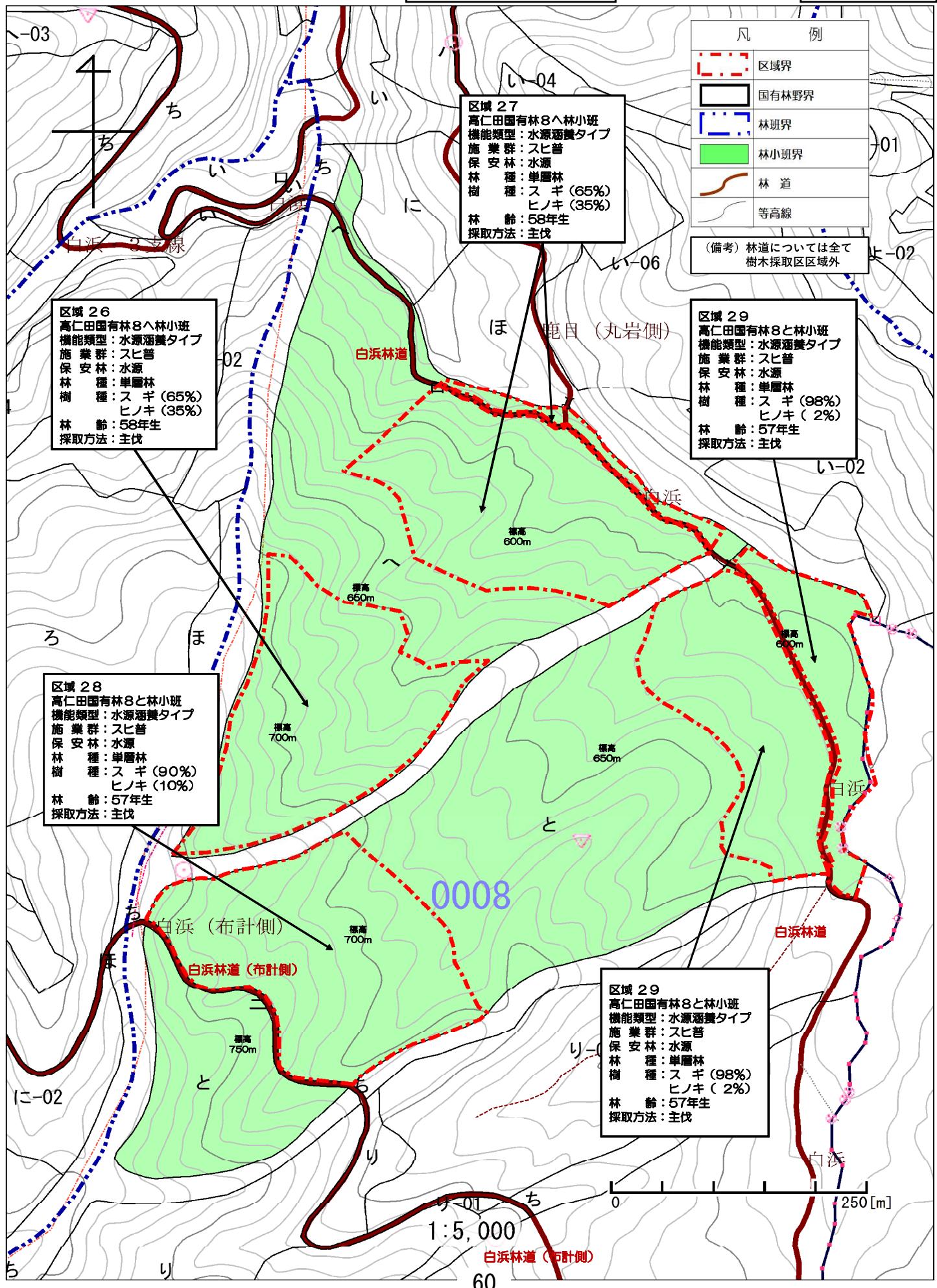
現況図面

図面番号 12



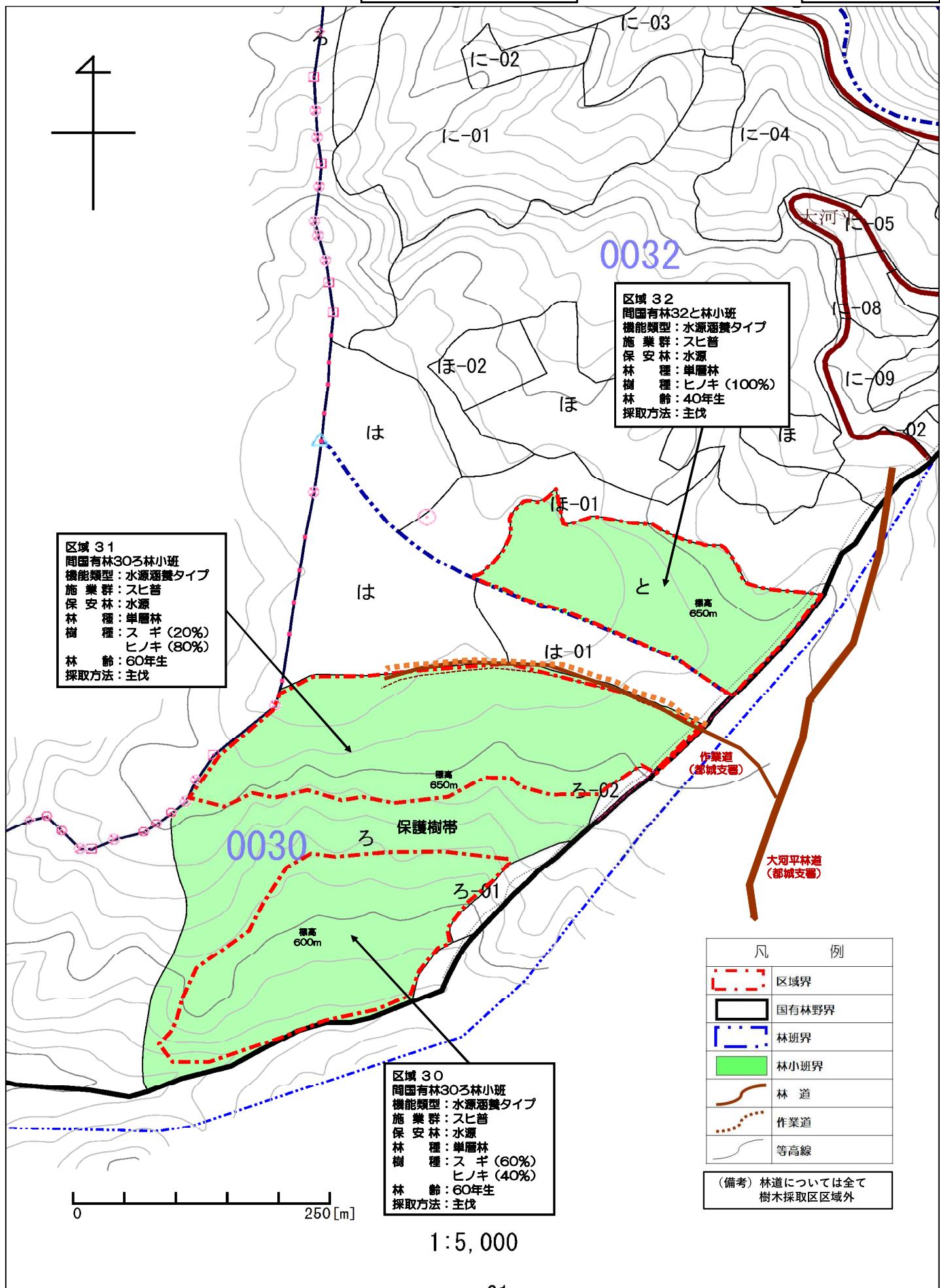
現況図面

図面番号 13



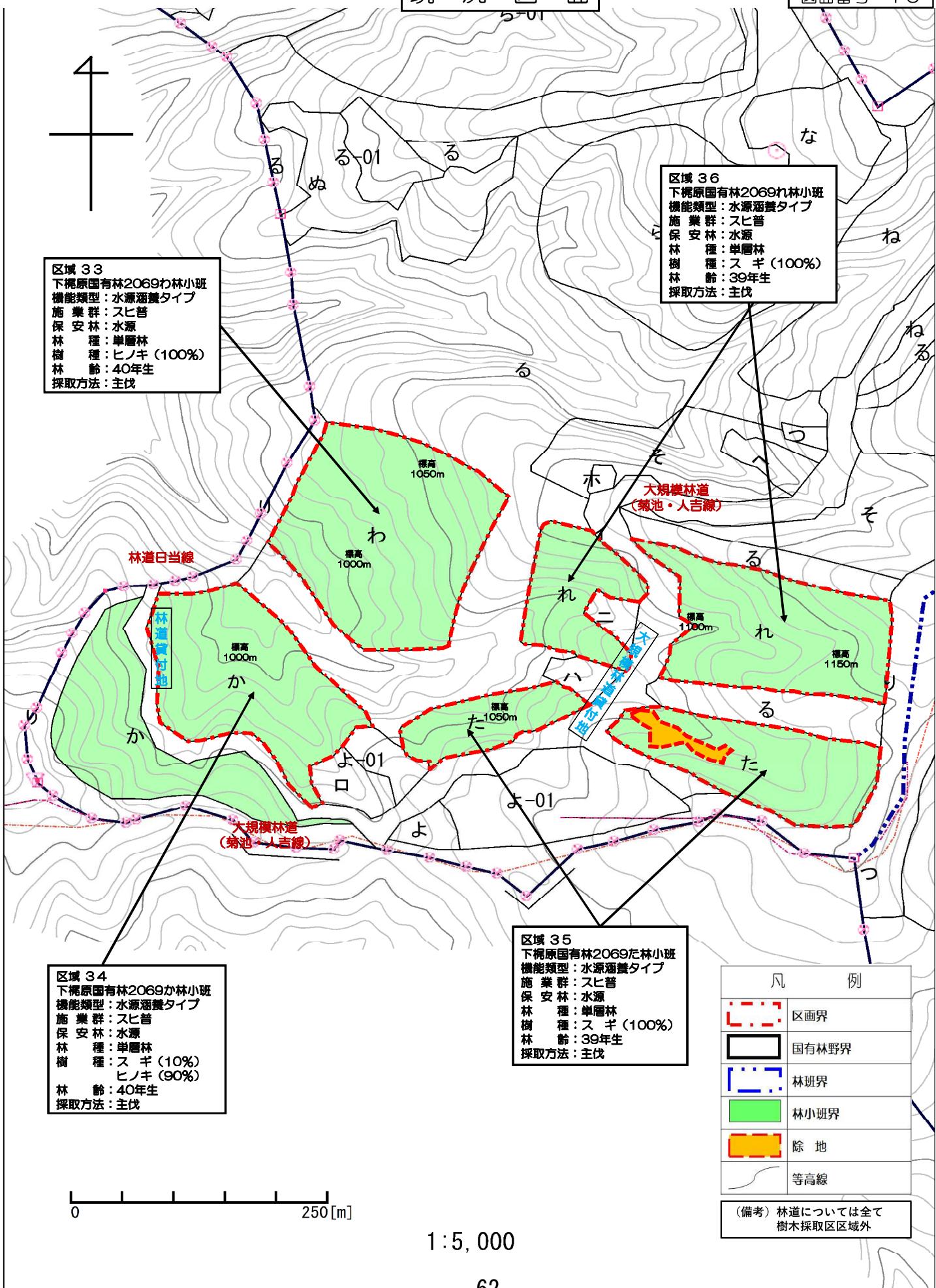
現況図面

図面番号 14



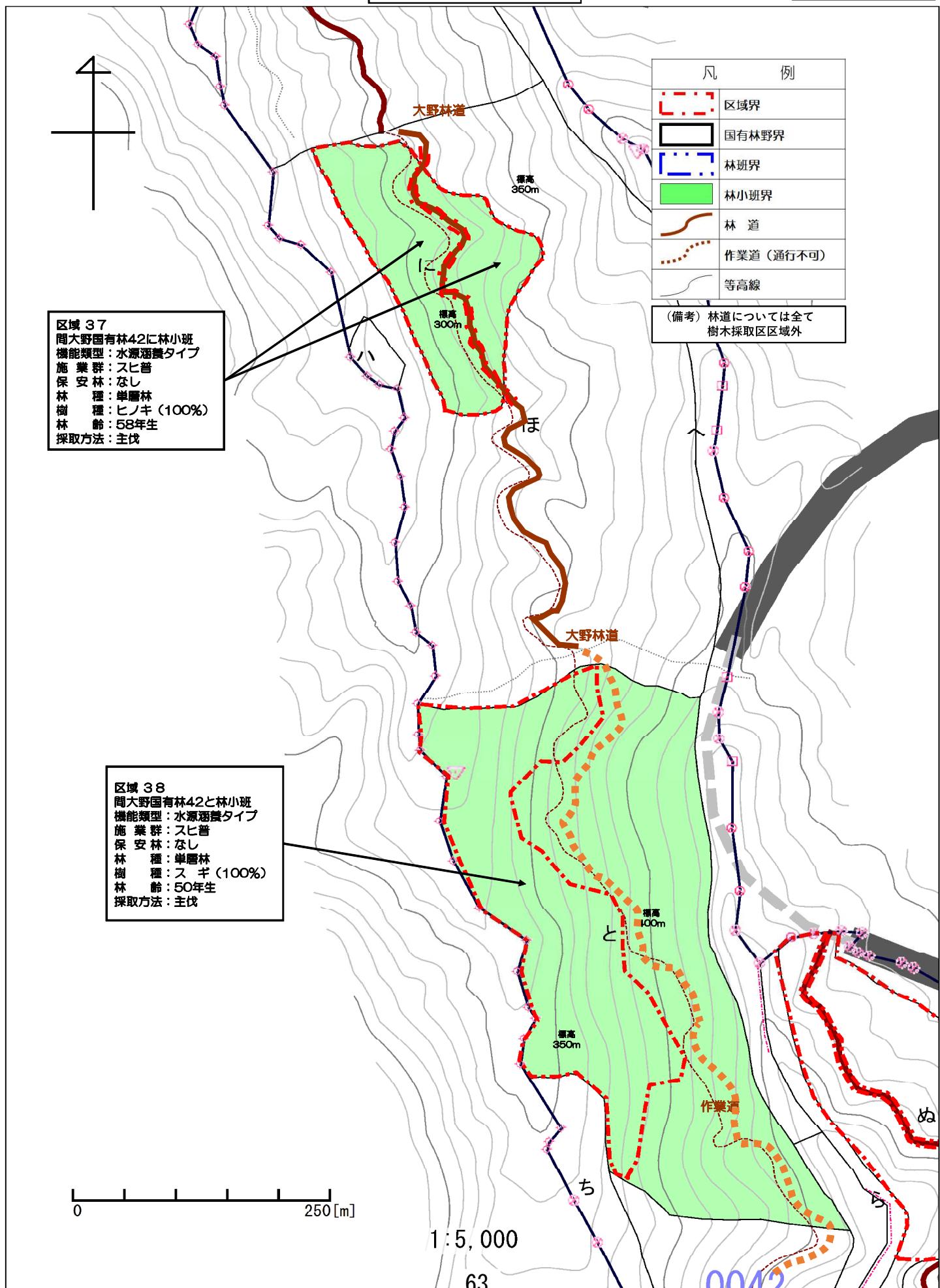
現況図面

図面番号 15



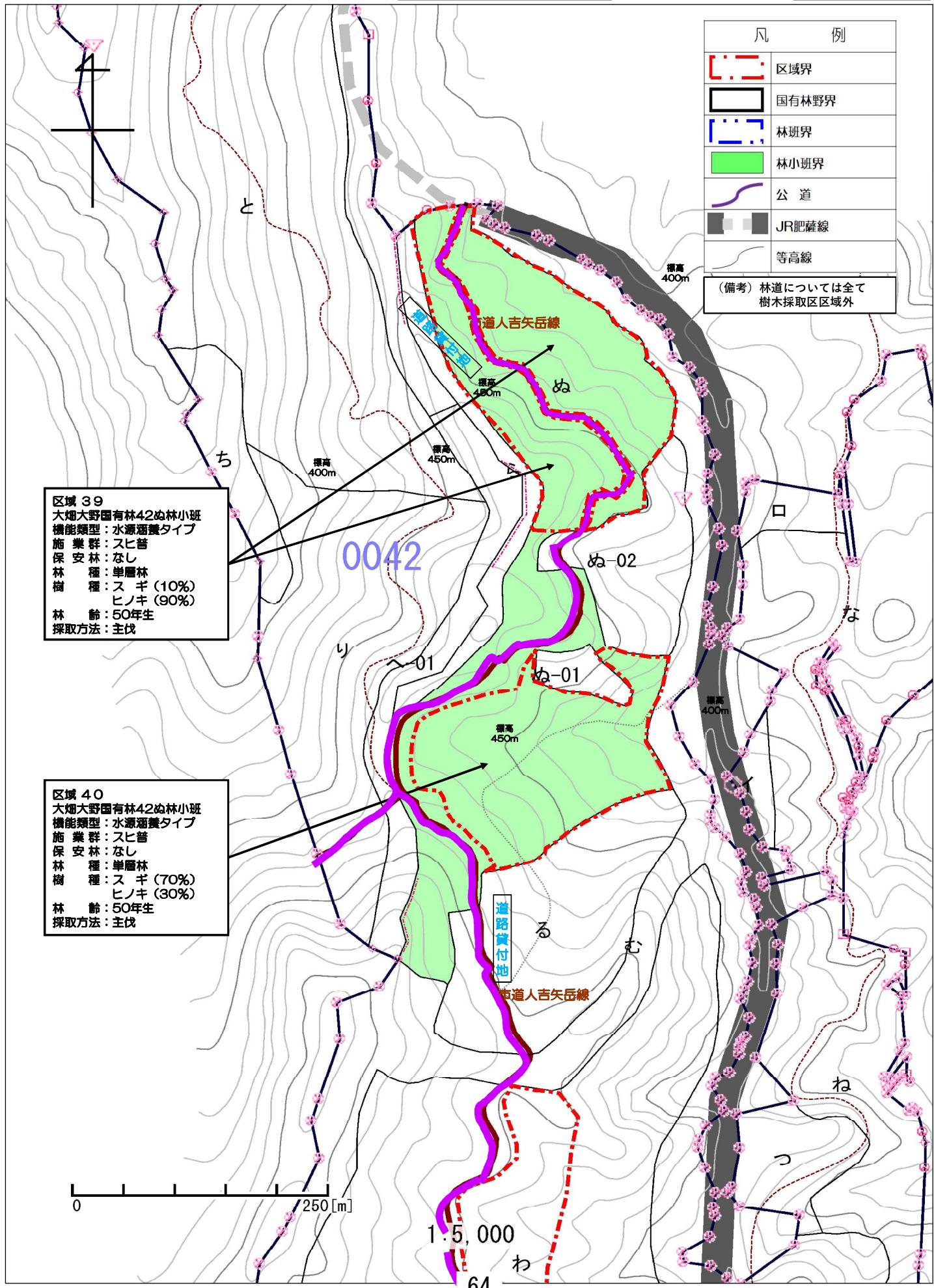
現況図面

図面番号 16



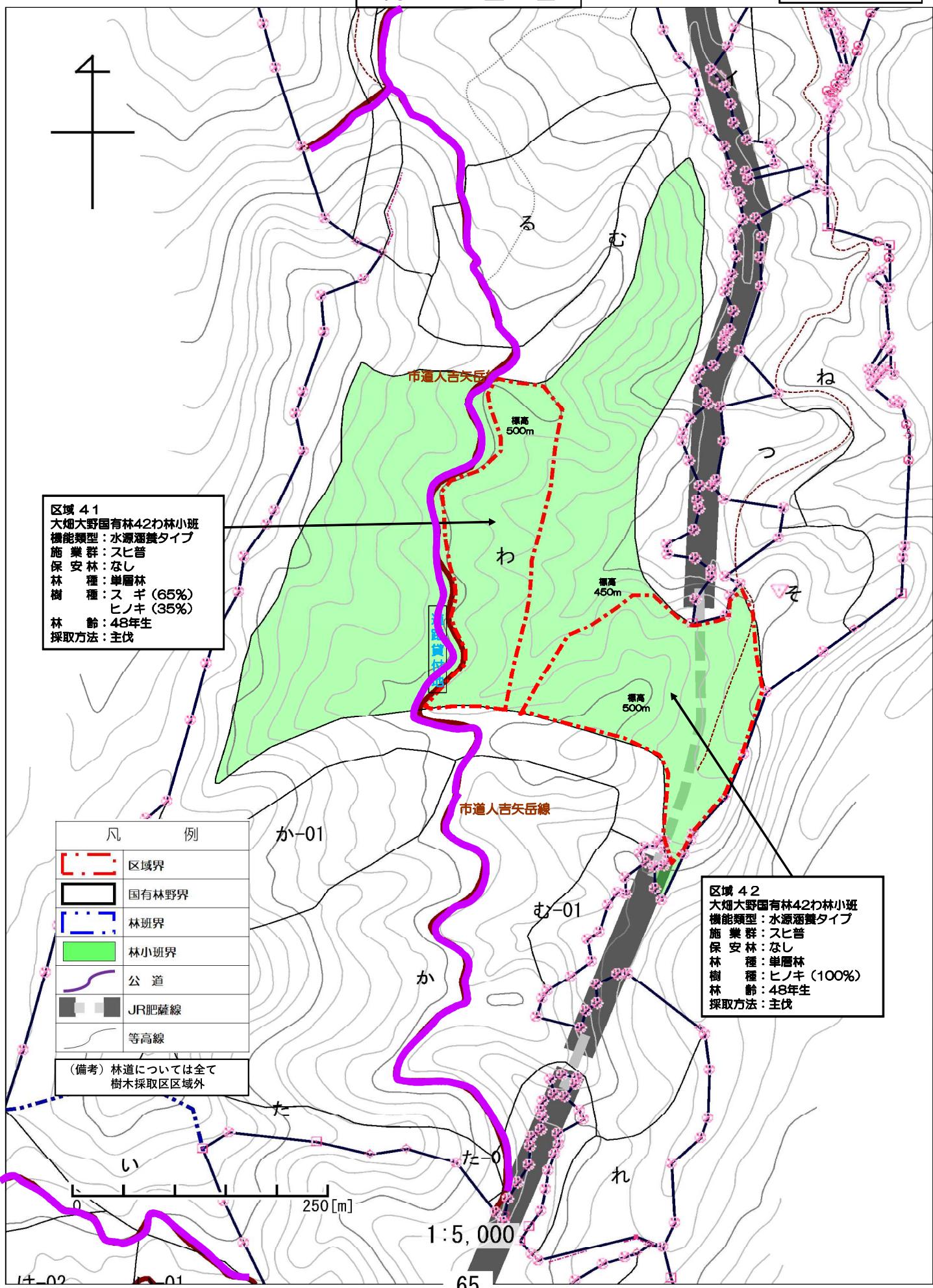
現況図面

図面番号 17



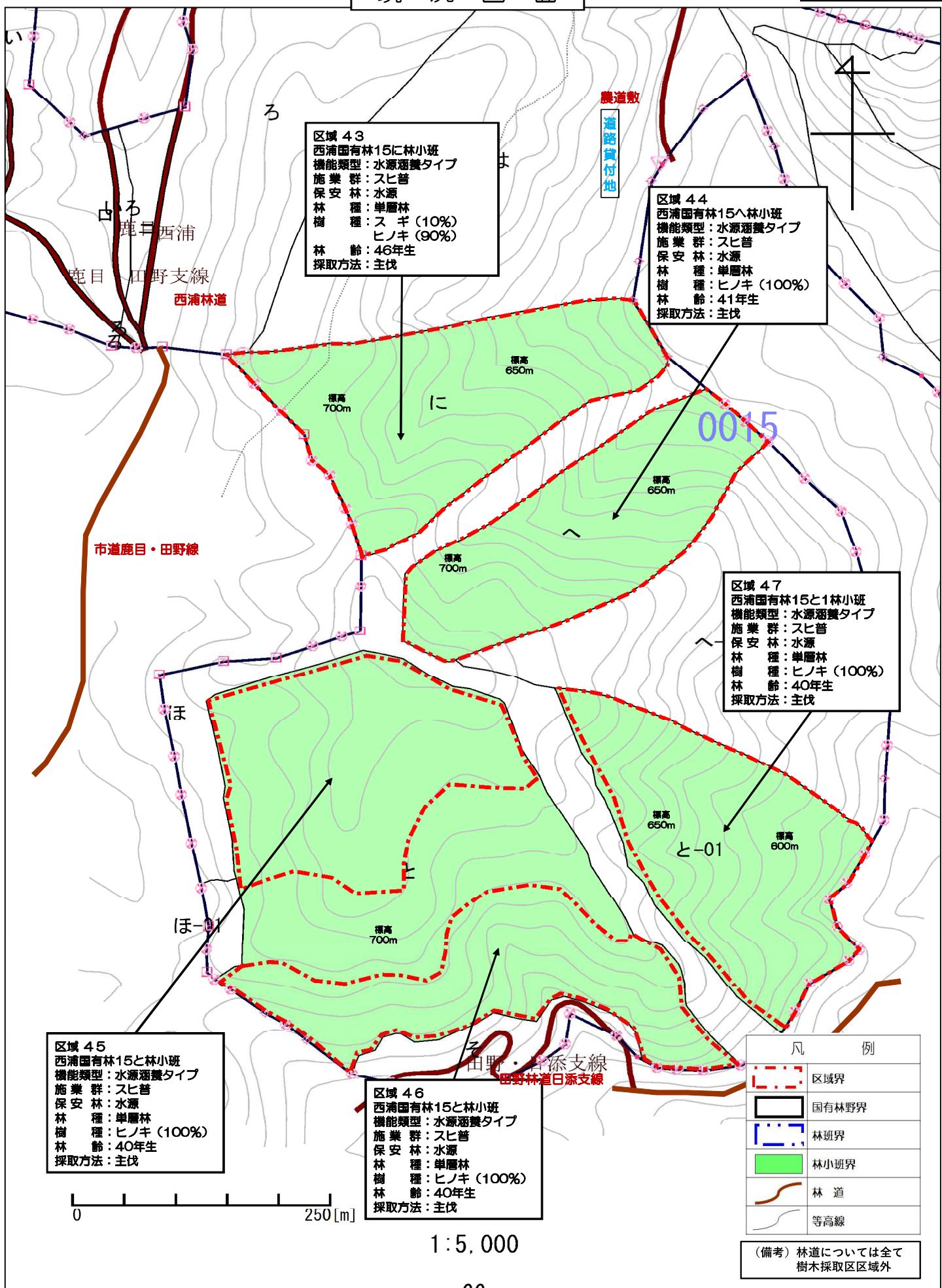
現況図面

図面番号 18



現況図面

図面番号 19



九州 1 球磨川樹木採取区林道等の状況一覧表

番号 (区域)	区分	路線名	細分	管理者	幅員 (m)	特記事項	出典	備 者
区域1~6	国有林林道	梶原林道	自動車道2級	国	3.6	路面補修	林道台帳	
	国有林林道	梶原林道59支線	自動車道2級	国	3.6	路面補修	林道台帳	
	国有林林道	60林班作業道(I)	自動車道	国	3.0	路面補修	作業道台帳	
区域7 区域43~47	市町村道	鹿目・田野線	自動車道2級	人吉市長	3.6		林道台帳	併用林道
	国有林林道	鹿目林道・田野支線	自動車道2級	国	3.6	路面補修	林道台帳	
	国有林林道	西浦12作業道	自動車道	国	3.0	路面補修	作業道台帳	
区域8~12 区域26~29	国有林林道	白浜林道	自動車道2級	国	3.6	路面補修	林道台帳	
	市町村道	白浜併用林道	自動車道2級	人吉市長	3.6		林道台帳	併用林道
	市町村道	田野線	自動車道2級	球磨村長	3.6		林道台帳	併用林道
	国有林林道	白浜林道(布計側)	自動車道2級	国	3.6	路面補修	林道台帳	
区域13~25	国有林林道	鏡山林道	自動車道2級	国	3.6	路面補修	林道台帳	
	国有林林道	鏡山林道54支線	自動車道2級	国	3.6	路面補修	林道台帳	
	国有林林道	鏡山林道56支線	自動車道2級	国	3.6	路面補修	林道台帳	
	市町村道	市道寒川線	自動車道2級	水俣市長	3.6		林道台帳	併用林道
	国有林林道	大川林道(久木野側)	自動車道2級	国	3.6	路面補修	林道台帳	
	国有林林道	狐岩林道	自動車道2級	国	3.6	路面補修	林道台帳	
区域30~32	国有林林道	大河平林道	自動車道2級	国	3.6	路面補修	林道台帳	都城支署部内
	国有林林道	作業道	自動車道	国	3.0	路面補修		
区域33~36	市町村道	大規模林道 菊池・人吉線	自動車道1級	五木村長	7.0~5.0		五木村林道台帳	
	市町村道	林道 日当線	自動車道2級	五木村長	4.0		五木村林道台帳	
区域37~42	国有林林道	大野林道	自動車道2級	国	3.5	路面補修	林道台帳	
	国有林林道	作業道	自動車道	国	3.0	R5年以降に改良計画		
	市町村道	人吉矢岳線	自動車道1級	人吉市長	4.0		人吉市道台帳	
区域43~47	国有林林道	西浦林道	自動車道2級	国	3.6	路面補修	林道台帳	
	市町村道	西浦線	自動車道2級	人吉市長	3.6		林道台帳	併用林道
	市町村道	鹿目・田野線	自動車道2級	人吉市長	3.6		林道台帳	併用林道
	国有林林道	田野林道日添支線	自動車道2級	国	3.6	路面補修	林道台帳	
	市町村道	農道	軽車道	人吉市長	3.0		人吉農道台帳	一部貸付地含む
	市町村道	田野地内4号線	自動車道	人吉市長	3.0	田野林道日添支線奥は、幅員の 関係から大型車両通行不可	人吉市道台帳	

備考1：樹木採取区から搬出又は運搬に使用される路線及びその情報を網羅しているものではない。

備考2：令和2年12月1日時点での調査した情報であり、それ以降の状況は反映されていない。

備考3：路面補修については、木材搬出用のトラックの通行も可能であるが路面補修が必要、補修は国が行う予定であるが、確定な実施を約束するものではない。

備考4：作業道の改良の計画はあくまで予定であり、変更、中止する場合もある（改良工事の実施にあたっては、樹木採取権者と協議した上で実施する）。

備考5：路線の配置については、別添の現況図面を参照のこと。